

令和3年度(令和2年実施) 三重県公立学校教員採用選考試験 実施要項

【電子申請による申込受付期間】 ※申込は原則、電子申請とします。

5月13日(水)午前10時～6月1日(月)午後5時

【郵送による申込受付期間】

5月13日(水)～ 5月25日(月) 当日消印有効



【第1次選考試験】 **7月18日(土)**

【第1次選考試験 合格者発表】 8月7日(金)



三重とこわか国体
第76回国民体育大会 2021年 9月25日(土)～10月5日(火)
ときめいて人 かがやいて未来 **2021**
三重とこわか大会
第21回全国障害者スポーツ大会 2021年 10月23日(土)～10月25日(月)



【第2次選考試験】

技能・実技試験 **8月18日(火)**

論述試験等 **8月20日(木)**

面接試験 **8月22日(土)～29日(土)**

(この期間のうち指定した1日)

【第2次選考試験 合格者発表】 9月下旬

三重県教育委員会

受験者のみなさんへ

国の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針（令和2年5月4日変更）」では、同日の緊急事態宣言延長のもと、引き続き、感染拡大を防ぐために基本的な感染予防の実施や不要不急の外出の自粛、「三つの密（密閉・密集・密接）」を避けることなど、自己への感染を回避するとともに、他人に感染させないように徹底することが必要であるとしています。

「三つの密」については、集団感染が発生した場の共通点から、①密閉空間（換気の悪い密閉空間である）、②密集場所（多くの人が密集している）、③密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）のある場では、感染を拡大させるリスクが高いとしています。

特に、人混みや近距離での会話、多数の者が集まり室内において大きな声を出すことや歌うこと、呼気が激しくなるような運動、家族以外の多人数での会食を行うことなどを避けるよう促されています。

こうしたことを踏まえ、令和3年度三重県公立学校教員採用選考試験は、感染防止対策を講じたうえで実施します。

1 感染拡大防止に係る基本的な考え方

(1) 試験内容

第1次及び第2次選考試験における集団面接は、遠くに座る受験者に聞こえるように大きな声を出すため、取り止めます。

第2次選考試験の技能・実技試験は、密室での多数の受験者の一斉の着替え、道具の共通使用となるため、試験の一部を取り止めます。

(2) 試験日程

試験内容の変更と併せて、日程を終日から半日に変更します。これにより試験会場における多数での昼食をなくすとともに、待機場所における「三つの密」を解消します。

また、第2次選考試験の面接試験では、面接時刻に合わせて個別に集合時刻を設定することで、移動時及び待機場所における「三つの密」を解消します。

(3) 試験会場

筆答試験と論述試験は、1教室あたりの受験者をおよそ半分（普通教室で20人程度を目安）にして受験者間の距離を広げます。

(4) その他

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況によっては、やむを得ず実施方法等をさらに変更する場合があります。

また、7月18日（土）の第1次試験については、試験当日に県内において緊急事態宣言が適用されるなどの場合に、日程を延期する可能性があります。実施または延期の判断は7月3日（金）としています。

詳しくは、下記のウェブサイト、Twitterでお知らせしますので、ご確認ください。

三重県教員採用ウェブサイト

<https://www.pref.mie.lg.jp/KYOSYOK/HP/index.htm>

三重県教員採用 Twitter

https://twitter.com/mie_kyousai



ウェブサイト



Twitter

2 実施方法等の主な変更点

昨年度の実施方法等から変更する内容は次の通りです。

(1) 試験内容（本要項4頁【6】1及び10頁【7】参照）

1次試験 ○全ての校種において集団面接を取り止めます。

2次試験 ○全ての校種において面接試験における集団面接を取り止めます。

○小学校教諭、特別支援学校教諭（小学部）の技能・実技試験の「音楽」・「体育」を取り止めます。

○中学校教諭（保健体育）、高等学校教諭（保健体育）、特別支援学校教諭（中学部・高等部保健体育）の技能・実技試験の「水泳」を取り止めます。

(2) 試験日程（本要項4頁【6】2、10頁【7】2参照）

1次試験及び2次論述試験

○校種・教科によって午前または午後の部に分かれます。

(3) 試験会場（本要項4頁【6】2、10頁【7】2参照）

1次試験及び2次論述試験

○小学校教諭の受験者は、会場が分かれます。

3 受験者へのお願い

(1) 受験日までの体調管理について

○受験日までの2週間は、体温を毎日測定するなどし、体調管理に努めてください。

(2) 試験会場への移動について

○津西高校、豊学校会場以外への移動は、最寄駅から原則、徒歩で移動してください。

○津西高校会場へは、往復ともに受験番号別に指定した臨時バスに乗車してください。

※受験番号、乗車するバスの時刻等は、受験番号をお知らせするメール及び、三重県教員採用のウェブサイトにて確認してください。

(3) 試験会場での行動について

○試験会場では、入り口にてアルコール手指消毒を行ってください。

○試験会場では、マスクを着用してください。また、教室内での私語は慎んでください。

4 受験を控えていただきたい場合について

受験日に新型コロナウイルス感染症など（学校保健安全法施行規則で出席停止が定められている感染症）に罹患して治癒していない方は、他の受験者への感染の恐れがあるため、受験を控えていただくようお願いします。

目 次

【 1 】	趣旨	・ ・ ・ ・	2
【 2 】	教員として求める人物像	・ ・ ・ ・	2
【 3 】	募集する校種・教科等	・ ・ ・ ・	2
【 4 】	選考種別	・ ・ ・ ・	3
【 5 】	一般選考の申込資格	・ ・ ・ ・	3
【 6 】	第1次選考試験	・ ・ ・ ・	4
【 7 】	第2次選考試験	・ ・ ・ ・	10
【 8 】	試験会場及び受験者への注意	・ ・ ・ ・	13
【 9 】	選考方法等	・ ・ ・ ・	15
【10】	採用及び勤務条件	・ ・ ・ ・	16
【11】	加点	・ ・ ・ ・	17
【12】	障がい者を対象とした特別選考	・ ・ ・ ・	22
【13】	スポーツ競技者特別選考	・ ・ ・ ・	24
【14】	小学校英語教育推進者特別選考	・ ・ ・ ・	26
【15】	社会人特別選考	・ ・ ・ ・	27
【16】	教職経験者等を対象とした特別選考	・ ・ ・ ・	30
【17】	申込手続	・ ・ ・ ・	37
【18】	申込時の確認事項	・ ・ ・ ・	42
【19】	情報公開、問い合わせ先等	・ ・ ・ ・	47
【20】	参考資料	・ ・ ・ ・	48

【1】趣 旨

この選考試験は、令和3年度の三重県公立学校教員の採用にあたり、教員としての資質に富み、使命感にあふれ、意欲ある人材を選考するために実施します。

【2】教員として求める人物像

* 教育に対する情熱と使命感をもつ人

子どもに対する愛情や教育者としての責任感が強く、常に子どもの人格と個性を尊重した指導ができる人

* 専門的知識・技能に基づく課題解決能力をもつ人

常に自己研鑽に努め、子どもとともに課題に取り組む創造性、積極性、行動力をもつ人

* 自立した社会人としての豊かな人間性をもつ人

優れた人権感覚と社会人としての良識に富み、組織の一員として関係者と協力して職責を果たし、子どもや保護者との間に深い信頼関係が築ける人

三重県教育委員会は、「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」の中で、教職着任時に求められる基礎的な知識や技能を示しています。詳細は本要項 48～49 頁をご覧ください。

【3】募集する校種・教科等

採用見込数は、一般選考、特別選考を合わせた数です。

校種等	教科・科目、採用見込数				採用見込数 計
小学校教諭					約230名
中学校教諭	国語 約16名	音楽 約4名	技術 約3名		約120名 +スポ4名
	社会 約16名	美術 約5名	家庭 約3名		
	数学 約19名	保健体育 ^{※2} 約19名	英語 約16名		
	理科 約19名	+スポ4名			
高等学校教諭	国語 約3名	理科 ^{※1}	工業(機械系(自動車を含む)) 約2名		約42名
	地理歴史 ^{※1}	物理 約1名	工業(電気・電子系) 約2名		
	世界史 約2名	化学 約1名	工業(工業化学系) 約2名		
	日本史 約2名	生物 約2名	英語 約2名		
	地理 約1名	保健体育 約3名	水産(海洋) 約1名		
	公民 約2名	家庭 約3名	水産(機関) 約1名		
	数学 約7名				
特別支援学校教諭	小学部 約14名				約18名
	中学部・高等部	音楽 約2名	保健体育 約2名		
養護教諭					約18名
栄養教諭					約5名

※1 教科の出題範囲及び選考について

「地理歴史」は、教科全範囲にわたる共通問題の他に、世界史・日本史・地理から選択問題を出題し、選択した専門領域ごとに選考します。

「理科」は、教科全範囲にわたる共通問題の他に、物理・化学・生物から選択問題を出題し、選択した専門領域ごとに選考します。

※2 中学校教諭「保健体育」では、スポーツ競技者特別選考を実施します。スポーツ競技者特別選考による採用見込数は4名です。(詳細は本要項 24 頁参照)

なお、表中の「+スポ4名」はスポーツ競技者特別選考の採用見込数4人を表しています。

- 注** (1) 日本国籍を有しない人を採用する場合は、任用の期限を付さない常勤講師とします。
 (2) 校種等及び教科・科目の1つに限り申し込むことができます。他の校種等及び教科・科目と重複して出願することはできません。
 (3) 養護教諭合格者は、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校または特別支援学校の養護教諭として採用します。また、栄養教諭合格者は、小学校、中学校、義務教育学校または特別支援学校の栄養教諭として採用します。
 (4) 小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭合格者は、希望の有無にかかわらず、特別支援学校教諭として採用する場合があります。
 (5) 小学校教諭合格者は中学校または義務教育学校教諭として、中学校教諭合格者は小学校または義務教育学校教諭として、第2希望の有無にかかわらず採用する場合があります。
 (6) 特別支援学校教諭合格者は、特別支援学校教諭として採用され、原則として特別支援学校での勤務となります。

【4】 選考種別

- ・ 一般選考
- ・ 障がい者を対象とした特別選考
- ・ スポーツ競技者特別選考
- ・ 小学校英語教育推進者特別選考
- ・ 社会人特別選考
- ・ 教職経験者等を対象とした特別選考（〔I〕〔II〕）

※ 選考種別を重複して申し込むことはできません。選考の種別により、申込資格や必要書類は異なります。詳細については、それぞれ該当の頁で確認してください。

※ ただし、「障がい者を対象とした特別選考」に申し込む人が、「障がい者を対象とした特別選考」以外の特別選考の申込資格を満たす場合は、該当する特別選考の試験項目により受験できることとします。

【5】 一般選考の申込資格

次の各号のいずれにも該当する人としてします。

- 1 学校教育法第9条及び地方公務員法第16条に定める欠格条項（本要項16頁【10】1(5)参照）に該当しない人
- 2 昭和36年4月2日以降に生まれた人
- 3 申し込む校種等に応じた下表に掲げる教育職員免許状を有する人^{※1}、または令和3年3月31日までに取得見込の人^{※2}

校 種 等	所 有 教 育 職 員 免 許 状	
小 学 校 教 諭	小学校教諭の普通免許状	
中 学 校 教 諭	教科に応じた中学校教諭の普通免許状	
高 等 学 校 教 諭	教科に応じた高等学校教諭の普通免許状 ^{※3}	
特別支援学校教諭	小 学 部	特別支援学校教諭かつ小学校教諭の普通免許状 ^{※4}
	中学部・高等部	特別支援学校教諭かつ教科に応じた中学校及び高等学校教諭の普通免許状 ^{※4}
養 護 教 諭	養護教諭の普通免許状 ^{※5}	
栄 養 教 諭	栄養教諭の普通免許状 ^{※6}	

※1 教員免許更新制度において、免許を更新せず、令和3年4月1日に効力を失っている場合を除きます。

※2 申し込む校種等に応じた教育職員免許状が取得見込の人は、取得年月日を必ず関係機関（一括申請の場合は大学等、個人申請の場合は各都道府県教育委員会等）に問い合わせ、令和3年3月31日までに取得できることを確認のうえ申し込んでください。特に、実務経験をもとに個人申請で教育職員免許状を取得する場合は、個人申請する時期及び実際に免許が取得できる時期に注意してください。

※3 「水産」については、「水産」または「商船」の普通免許状。

※4 盲学校教諭免許状、聾学校教諭免許状または養護学校教諭免許状を有する人は、教育職員免許法平成18年改正法附則第5条の規定により、特別支援学校教諭免許状を授与されたものとみなします。

※5 令和2年度中に実施される保健師国家試験の合格により得られる資格を基礎として、養護教諭普通免許状を取得しようとする人を含みます。

※6 令和2年度中に栄養士免許を取得し、その免許を基礎として栄養教諭普通免許状を取得しようとする人を含みます。

【6】 第1次選考試験（募集する全校種・教科等で実施）

1 試験項目

試験項目等 選考種別	筆答試験		
	教 養 (40 分)	小論文 (40 分)	専 門 (60 分)
一般選考 障がい者を対象とした特別選考※ ¹	○		○
スポーツ競技者特別選考		○	
社会人特別選考		○	○
小学校英語教育推進者特別選考			○
教職経験者等を対象とした特別選考			○

※¹ ただし、「障がい者を対象とした特別選考」に申し込む人が、「障がい者を対象とした特別選考」以外の特別選考の申込資格を満たす場合は、該当する特別選考の試験項目により受験できることとします。

2 試験日時及び会場（予定）

試験日 令和2年7月18日（土）

受験する校種・教科	選考種別	集合時刻※ ²	会場※ ³
小学校教諭 (小学校英語教育推進者特別選考を除く)	一般選考 障がい者を対象とした特別選考※ ⁴ 社会人特別選考	午前8時40分	津高等学校※ ⁵ 津東高等学校※ ⁵ 津工業高等学校※ ⁵
	教職経験者等を対象とした特別選考	午前10時00分	
小学校教諭 (小学校英語教育推進者特別選考のみ) 中学校教諭（英） 高等学校教諭（英）	一般選考 障がい者を対象とした特別選考※ ⁴ 社会人特別選考	午前8時40分	津高等学校
	小学校英語教育推進者特別選考 教職経験者等を対象とした特別選考	午前10時00分	
中学校教諭（音・保体） 高等学校教諭（保体） 特別支援学校教諭 (小・中高音・中高保体)	一般選考 障がい者を対象とした特別選考※ ⁴ スポーツ競技者特別選考 社会人特別選考	午前8時40分	津西高等学校
	教職経験者等を対象とした特別選考	午前10時00分	
中学校教諭 (国・社・数・理 ・美・技・家)	一般選考 障がい者を対象とした特別選考※ ⁴ 社会人特別選考	午後1時40分	津高等学校
	教職経験者等を対象とした特別選考	午後3時00分	
高等学校教諭 (地歴・公民・数 ・理・工業・水産)	一般選考 障がい者を対象とした特別選考※ ⁴ 社会人特別選考	午後1時40分	津工業高等学校
	教職経験者等を対象とした特別選考	午後3時00分	
高等学校教諭（国・家） 養護教諭 栄養教諭	一般選考 障がい者を対象とした特別選考※ ⁴ 社会人特別選考	午後1時40分	津東高等学校
	教職経験者等を対象とした特別選考	午後3時00分	

※² 当日の諸注意等は、会場入口付近に掲示します。入口での受付は行いませんので、掲示により各自受験する教室を確認のうえ、入室してください。

※³ 新型コロナウイルスの感染拡大の状況や応募状況により、試験日程や試験会場を変更する場合があります。日程及び会場については三重県教員採用のウェブサイトを確認してください。

※⁴ 「障がい者を対象とした特別選考」に申し込んだ人で、「障がい者を対象とした特別選考」以外の特別選考の試験項目による受験を申請した場合は、該当する選考種別の集合時刻までに、入室してください。

※⁵ 6月下旬以降に送付される案内メールにしたがって試験会場を確認してください。

3 第1次選考試験受験上の注意事項

(1) 持参物等

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 受験票 | <input type="checkbox"/> 整理票 |
| <input type="checkbox"/> 返信用封筒 | <input type="checkbox"/> 筆記用具（HBの鉛筆を含めること） |
| <input type="checkbox"/> シューズバッグ（靴入れ） | <input type="checkbox"/> 上履き（会場備え付けの上履き等は使用しないこと） |
| <input type="checkbox"/> 高等学校教諭「工業」受験者は、関数電卓（ポケットコンピュータ、電卓機能をもつ携帯端末は不可） | |
| <input type="checkbox"/> マスク | |

* 「筆答試験（教養）」、「筆答試験（専門）」はマークシート方式で実施します。HBの鉛筆とプラスチック消しゴムを用意してください。

* 時計を持ち込むことはできますが、辞書、電卓、情報端末等の機能がある時計や、それらの機能の有無が判別しづらい時計は不可とします。

* 各会場及び会場敷地内では、携帯電話やスマートフォン、ウェアラブル端末などの通信機器類は、電源を切ってください。

- (2) 「筆答試験（教養）」の試験内容は、教職教養（教職に関する知識と理解、学校教育に関する課題への認識等）及び一般教養などです。なお、生徒指導、特別支援教育、人権教育を含みます。
- (3) 申込時にポルトガル語またはスペイン語による加点を申請した人は、7月21日（火）に、ポルトガル語またはスペイン語の面接試験を行います。試験会場、時間等は7月18日（土）に連絡します。
- (4) 会場への移動では、最寄駅からは原則、徒歩で移動してください。津西高校会場へは、往復ともに受験番号順に指定した臨時バスに乘車してください。いずれの試験会場も、会場及び会場付近への自家用車、バイク等の乗り入れ（送迎を含む）、駐車は厳禁です。違反した場合は、評価の際、減点の対象とします。また、発覚した場合には、試験途中であっても車の移動等を行っていただきます。

4 選考試験当日の提出物について

次の提出物を、試験当日の7月18日（土）に試験会場で提出してください。

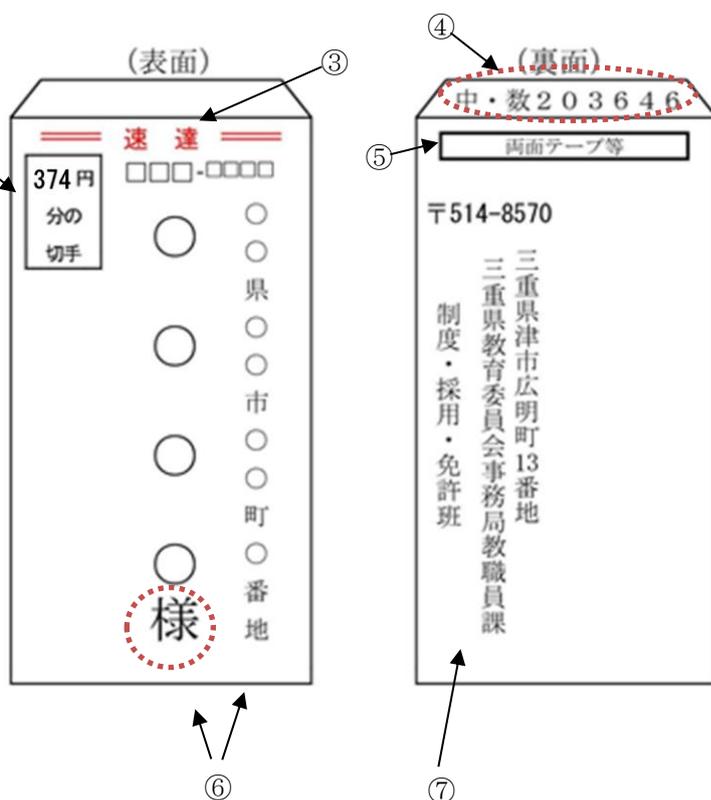
(1) **令和3年度三重県公立学校教員採用選考試験整理票**

所定の用紙をダウンロードするか、本要項9頁をコピーし、同8頁の「記入上の注意」を読んで記入してください。

(2) **返信用封筒** 1部・・・第1次選考試験の合否通知に使用します。

右図のとおり必要事項を記入してください。

- ① 封筒サイズは**長形3号封筒**
(23.5cm×12.0cm)としてください。
- ② 374円分の切手を貼ってください。
- ③ **速達**の表示**(朱書)**をしてください。
- ④ 裏面ふたの折り返し部分には、受験校種・
教科等の略称と受験番号を記入する。
(例) 中学校数学 203646 番
→ 中・数 203646
- ⑤ 糊付き封筒を使用するか、両面テープを
貼付てください。
- ⑥ 宛先及び郵便番号を明記し、宛名の下に
「様」を記入してください。
(**令和2年8月7日(金)以降**に郵便物が
届く宛先を記入してください。)
- ⑦ 裏面には差出人として「制度・採用・免許班」
と記入してください。



5 受験票について

(1) 電子申請による申込をした人

以下に示す手順にしたがって、各自で受験票を準備してください。
受験票は送付しませんので十分に注意してください。

<受験票作成の手順>

① 右の受験票用紙を厚紙にコピーするか、普通紙にコピーしたものをハガキなどの厚紙に貼付する。

② 6月下旬以降に送付される案内メールにしたがって受験番号及び、1次試験の試験会場・集合時刻を確認し、間違いのないよう受験番号を転記し、試験会場・集合時刻は該当する箇所を○で囲む。

(受験番号は6月下旬以降に「三重県申請・届出等手続きの総合窓口」の「申請状況照会」からも確認できます。また、試験会場と集合時刻は、6月下旬以降に三重県教員採用のウェブサイトに掲載します。)

③ 校種等、教科・科目、名前、フリガナを記入する。

④ 指定されたサイズの写真を貼付する。なお、写真は「整理票」(本要項9頁参照)と同じものを使用する。

三重県の電子申請・届出システムの「申請者ID」と「パスワード」を忘れると、後日、受験番号を確認できません。事務局でも調べることができませんので、注意してください。

令和3年度三重県公立学校教員採用選考試験 受 験 票		
校種等	教科・科目	受験番号
フリガナ		
名 前		
1次試験 試験会場	津高 ・ 津東高 津工業高 ・ 津西高	○で囲む
1次試験 集合時刻	午前 8:40 ・ 午前 10:00 午後 1:40 ・ 午後 3:00	○で囲む

(注)

1. 受験の際は、必ず本票を持参し、試験会場の机上に提示してください。
2. 試験当日の持参物・提出物
「実施要項」5頁及び6頁参照
3. 「受験者への注意」を厳守してください。
「実施要項」5頁及び14頁参照
特に、試験会場及び会場付近への自家用車、バイク等の乗り入れ(送迎を含む)、駐車は厳禁です。違反した場合は、評価の際に減点の対象とします。
4. 「実施要項」冒頭の「受検者のみなさんへ」をお読みいただき、受験してください。
5. 非常災害時等における試験実施に関する情報は、以下の二次元コードを用いて、三重県教員採用のウェブサイト及びTwitterに掲載します。

三重県教育委員会事務局 教職員課
TEL 059-224-2959


ウェブサイト


Twitter

写真欄)

- ・三重県公立学校教員採用選考試験整理票と同じ写真(3×4cm)を貼付してください。
- ・写真の裏面には受験番号と名前を書いてください。

(2) 郵送による申込をした人

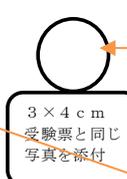
6月下旬以降に受験票を送付しますので、記載されている指示にしたがって必要事項を記入し、写真を貼付してください。なお、写真は「整理票」(本要項9頁参照)と同じものを使用してください。

三重県教員採用のウェブサイト (<https://www.pref.mie.lg.jp/KYOSYOK/HP/index.htm>) 及び三重県教員採用 Twitter (https://twitter.com/mie_kyousai) に、7月17日(金)午前9時以降、非常災害時等における試験実施に関する情報を随時掲載します。受験票の右下にある二次元コードを用いて、それぞれにアクセスすることができます。

「整理票」(第1次選考試験当日提出) 記入上の注意

太枠内のすべての事項について、【記入例】を参考に第1次選考試験当日現在の状況(年齢を除く)を記入してください。なお、記入欄が足りない場合は、その欄をコピーし、欄の上面に貼付してください。

【記入例】

令和3年度三重県公立学校教員採用選考試験整理票										三重県教育委員会	
選考種別	① 一般選考 ② 障がい者を対象とした特別選考 ③ スポーツ競技者特別選考									 3×4cm 受験票と同じ写真を添付	
校種等	④ 小学校英語教育推進者特別選考 ⑤ 社会人特別選考										
フリガナ	ミエ センタロウ			教科科目	保健体育		受験番号	207514			
名前	三重 専太郎			性別	男						
生年月日	昭和 平成 61年 7月 10日			年齢	満 34歳						
現住所	(〒514-8570) 三重県津市広明町13番地			電話(059)	224-2959						
携帯	(000) 0000-0000										
現住所	(〒)			電話()							
現在の職業	三重県〇〇市〇〇町1-1 〇〇市立〇〇小学校 随時的任用講師										
学歴 (高校入学以後)	入学年月	卒業年月	学校・学部・学科名		取得(見込)免許状	種類	教科等	取得年月			
	H14.4	H17.3	三重県立〇〇高等学校			中一種	保健体育	H21.3			
	H17.4	H21.3	〇〇大学〇〇学部〇〇学科			小一種		H21.3			
	H21.4	H23.3	〇〇大学大学院〇〇科〇〇専攻			高一種	保健体育	H21.3			
職歴	年月	年月	職歴事項		特技・資格等	・理学療法士資格(H29年9月30日) ・日本体育協会公認スポーツ指導者(H19年6月1日) ・手話技能検定試験 3級(手話技能検定協会 H30年4月17日)					
	H23.4	H24.3	〇〇町立〇〇小学校 教諭								
	H24.4	H26.3	無職								
	H26.4	H28.3	私立〇〇学園非常勤講師								
	H28.4	R2.4	△△商事株式会社								
R2.5		〇〇市立〇〇小学校 随時的任用講師		趣味等(余暇の過ごし方)	・登山、沢登り、マウンテンバイク ・ヨガサークル参加						
		現在に至る									
部活動歴等	所属した部・サークル・同好会の名称		競技実績及び創作研究活動の実績			ボランティア活動等 ・平成〇年〇月 〇〇災害時ボランティア活動に参加 ・手話通訳ボランティア					
	高等学校	バスケットボール部	H〇〇年三重県高等学校総合体育大会準優勝(レギュラーPGとして出場)その後、怪我のためマネージャーを務める。								
大学等	バスケットボール部	H〇〇年西日本学生選手権大会2位(レギュラーSFとして出場)H〇〇年西日本学生選手権大会3位(控えPGとして出場)4年時に副キャプテンを務める。									
結果	1次合格		2次合格		備考						

受験票と同じ写真を貼る。(写真の裏面には受験番号と名前を記入)

通知された受験番号を記入

年齢は令和3年3月31日現在

最上段に受験を申し込む校種・教科等に係る免許状を記入

※4

※5

現在下宿している場合の帰省先など連絡が取れる住所

※1

※2

※3

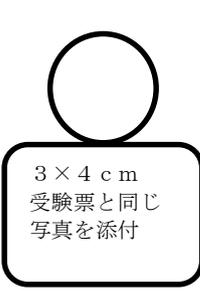
記入不要

注) この整理票は、第1次選考試験当日の7月18日(土)に試験会場で提出してください。

- ※1 「現在の職業」
現在、民間企業・官公庁等に勤務している人は、勤務先等を記入する。現職の教職員(常勤講師、非常勤講師等を含む)は、学校名、職名、学校の所在地、国、公、私立の別等を朱書する。学生は記入しなくてよい。
- ※2 「職歴」
大学卒業時から現在に至るまで、「無職」「家事従事」等の期間も含め、1ヶ月以上の空白がないよう詳細に記入する。なお、正規の教職員歴は朱書する。職歴欄が不足する場合は、各自で職歴欄をコピーし、欄の上面に貼付する。
- ※3 「部活動歴等」
高等学校、大学等において所属し、活動した部等(同好会を含む)の名称及び活動実績を記入する。また、その際、選手(先発、控え等)、ポジション、主務、マネージャー等、自らが果たした具体的な役割も記入する。
- ※4 「特技・資格等」「趣味等(余暇の過ごし方)」
趣味等の余暇の過ごし方、特技や所有する資格等を具体的に記入する。各種資格所有者(調理師、栄養士、介護福祉士、理学療法士、情報処理技術者、海技士、保健師、保育士、学芸員等)はその名称を、検定等合格者は級、点数、主催団体名、取得年月日等を記入する。その他「手話ができる」等、学校現場で生かすことができる特技があれば記入する。
- ※5 「ボランティア活動等」
ボランティアなど自主的な活動歴を記入する。

令和3年度三重県公立学校教員採用選考試験整理票

三重県教育委員会

選考別	1 一般選考 2 障がい者を対象とした特別選考 3 スポーツ競技者特別選考								
	4 小学校英語教育推進者特別選考 5 社会人特別選考								
6 教職経験者等を対象とした特別選考[I] 7 教職経験者等を対象とした特別選考[II]									
校種等	小学校・中学校・高等学校	教科		受験番号					
フリガナ					性別				
名前					年齢	満 歳			
生年月日	昭和・平成	年	月	日	電話 ()	—			
現住所	(〒)				携帯 ()	—			
帰省先等の生活の本拠	(〒)				電話 ()	—			
現在の職業	勤務先の名称・所在地・職名等 (現職の教職員は朱書すること)				電話 ()	—			
学歴 (高校入学以後)	入学年月	卒業年月	学校・学部・学科名		取得 (見込) 免許状	種類	教科等	取得年月	
職歴	年月	年月	職歴事項		特技・資格等	司書教諭講習修了証書 有・見込・無			
部活動歴等	所属した部・サークル・同好会の名称		競技実績及び創作研究活動の実績			ボランティア活動等			
	高等学校								
	大学等								
結果	1次合格		2次合格		備考				

注) この整理票は、第1次選考試験当日の7月18日(土)に試験会場で提出してください。

【7】 第2次選考試験（第1次選考試験合格者に対して実施）

1 第2次選考試験一覧

校種・教科等		試験項目等	8/18 技能・実技試験	8/20 論述試験等	8/22～29 面接試験
小学校教諭（小学校英語教育推進者特別選考を除く） 特別支援学校教諭小学部			—	○ 英語リスニングを併せて実施	○
小学校教諭（小学校英語教育推進者特別選考のみ）			○	○ 英語リスニングを実施しない	○
音楽	中学校教諭 特別支援学校教諭中学部・高等部	○※1		○	○
美術	中学校教諭				
保健体育	中学校教諭、高等学校教諭 特別支援学校教諭中学部・高等部				
技術	中学校教諭				
家庭	中学校教諭、高等学校教諭				
英語	中学校教諭、高等学校教諭				
養護教諭					
上記以外の校種・教科等		—		○	○

※1 スポーツ競技者特別選考の受験者を除く。

2 日時及び試験会場※2、試験項目

●令和2年8月18日（火） 技能・実技試験（下記の校種・教科等のみ実施）

校種・教科等によって、集合時刻は異なります。詳細は第1次選考試験合格通知と併せて連絡します。

校種・教科等		会場
小学校教諭（小学校英語教育推進者特別選考のみ）		津商業高等学校
美術	中学校教諭	
家庭	中学校教諭、高等学校教諭	
英語	中学校教諭、高等学校教諭	
音楽	中学校教諭、特別支援学校教諭中学部・高等部	三重県総合教育センター
技術	中学校教諭	津市立橋北中学校
保健体育	中学校教諭※3、高等学校教諭、特別支援学校教諭中学部・高等部	津高等学校
養護教諭		

●令和2年8月20日（木） 論述試験等（全校種・教科等で実施）

校種等	会場	集合時刻	試験項目
小学校教諭（小学校英語教育推進者特別選考のみ） 中学校教諭	津商業高等学校	午前11時00分	論述試験（60分）
高等学校教諭 特別支援学校教諭中学部・高等部 養護教諭、栄養教諭	津工業高等学校		
小学校教諭（小学校英語教育推進者特別選考を除く）	津商業高等学校※4 津工業高等学校※4	午後1時50分	英語リスニング（20分） 論述試験（60分）
特別支援学校教諭小学部	津工業高等学校		

●令和2年8月22日（土）～8月29日（土）のうち指定した1日※5

面接試験〔個人面接（模擬授業を含む。）〕（全校種・教科等で実施）

会場 三重県立聾学校

※2 新型コロナウイルスの感染拡大の状況等により、試験日程や試験会場を変更する場合があります。日程及び会場については三重県教員採用のウェブサイトを確認してください。

※3 スポーツ競技者特別選考の受験者を除く。

※4 会場は、第1次選考試験合格通知と併せて連絡します。

※5 集合時刻、集合場所については、第1次選考試験合格通知と併せて連絡します。面接試験日の変更はできません。

3 第2次選考試験受験上の注意事項

(1) 8月18日(火)、20日(木)及び22日(土)～29日(土)の集合時刻、持参物等は、第1次選考試験合格通知と併せて連絡します。

(2) 技能・実技試験の内容、持参物等

校種等	教科・科目	内容・持参物等	
共通		<ul style="list-style-type: none"> ・受験票 ・筆記用具 ・上履き（会場備え付けの上履き等は使用しない） ・シューズバッグ（靴入れ） ・マスク 	
小学校教諭 <small>（小学校英語教育推進者特別選考を除く）</small> 特別支援 学校教諭 小学部	英 語	リスニングテスト	
小学校教諭 <small>（小学校英語教育推進者特別選考のみ）</small> 中学校教諭 高等学校教諭	英 語	インタビューテスト	
中学校教諭 特別支援 学校教諭 中学部・高等部	音 楽	<p>(1)自由曲を暗譜で演奏する。（3～4分程度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当日、楽譜（ピアノ伴奏する場合は伴奏つきの楽譜）を提出すること。（2部） ・ピアノ、声楽以外で受験する場合は、各自楽器を持参すること。 ・伴奏者が必要な場合は、各自で同伴すること。（A=442Hz） <p>(2)課題曲をピアノで「弾き歌い」する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次に示す曲を演奏する。 「早春賦」吉丸 一昌 作詞、中田 章 作曲 ※1～2番まで ・演奏用の楽譜は、教科書に掲載されているものを各自で用意すること。また、伴奏楽譜も各自で用意すること。 ・教科書に掲載されている調で歌うこと。 	
中学校教諭	美 術	〈内容〉 (1) 素描 (2) デザイン	〈持参物〉 (1) ・鉛筆（H～4Bを各2～3本） ・消しゴム等（ネリ消しゴムを含む） (2) ・デザイン用具一式 ・ポスターカラーまたはアクリルガッシュ ・デザイン用筆 ・定規 ・水入れ ・消しゴム等

校種等	教科・科目	内容・持参物等	
中学校教諭 高等学校教諭 特別支援 学校教諭 中学部・高等部	保健体育	〈領域・種目〉 (1)球技 ① バスケットボール ② バレーボール ③ サッカー (1種目選択) (2)陸上競技 ① 走幅跳 ② 砲丸投 (1種目選択) (3)武道 ① 柔道 ② 剣道 (1種目選択) (4)器械運動 ・マット運動 (全員必須) (5)ダンス ・表現 (全員必須)	〈服装等〉 (1) 球技、(2) 陸上競技、(4) 器械運動、(5)ダンス ・実技に適した服装(縦15cm横20cmの白布に受験番号を記入したゼッケンを胸の前に縫いつけること)、シューズ(体育館用、屋外用の2足) (3)武道 ・柔道着 ・剣道着、防具、竹刀 ※ゼッケン(球技等と同様のもの)を背に縫いつけること。 〈課題〉 (1)球技 ・各種目の基本技能(詳細は当日指示する) (2)陸上競技 ・記録を測定する。 (3)武道 ・柔道…礼法、受け身、基本的な技 ・剣道…礼法、素振り、基本的な技 (詳細は当日指示する) (4)器械運動 ・マット運動の連続技 (詳細は7月上旬から7月中旬に三重県教員採用のウェブサイトに掲載する) (5)ダンス ・音楽に合わせた表現 (詳細は7月上旬から7月中旬に三重県教員採用のウェブサイトに掲載する)
		(注) ・ 申込の際に、(1)球技 (2)陸上競技 (3)武道からそれぞれ1種目ずつ選択し、申請すること。 ・ 雨天等により屋外で実施できない場合、(2)陸上競技の①走幅跳と②砲丸投を、体育館での反復横跳または立幅跳に変更することがある。	
中学校教諭	技 術	〈内容〉・ものづくり ・情報処理 〈持参物〉・筆記用具(HB、Bの鉛筆を含む) ・直定規 ・三角定規 ・さしがね ・両刃のこぎり ・かんな ・四つ目ぎり ・げんのう ・くぎぬき ・ラジオペンチ ・ニッパ ・プラスドライバー ・マイナスドライバー ・カッターナイフ ・はさみ ・実技に適した服装等 ※ 当日、パソコン及びその他の必要なものは試験会場に準備する。	
中学校教諭 高等学校教諭	家 庭	〈内容〉被服製作及び調理 〈持参物〉 ・裁縫用具一式(縫針、待針、針山、指ぬき、糸きりバサミ、ヘラ、しつけ糸、裁ちバサミ、リッパー、チャコ<チャコペン、チャコペンシル可>、定規) ・調理用かっぽう着または白衣 ・三角きん ・ふきん4枚 ・手拭きタオル ・包丁	
養護教諭		〈内容〉養護教諭の職務を遂行するうえで、必要とされる技能・実技 〈服装等〉実技に適した服装(スーツ等は不要)	

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況によっては、やむを得ず実施方法等をさらに変更する場合があります。詳しくは、三重県教員採用のウェブサイト、Twitterでお知らせしますので、ご確認ください。

【8】 試験会場及び受験者への注意

1 試験会場

会 場	住所及びアクセス
津高等学校	津市新町3丁目1-1 近鉄津新町駅下車 西へ徒歩約10分
津東高等学校	津市一身田上津部田1470 近鉄、JR津駅西口下車 西へ徒歩約20分
津西高等学校	津市河辺町2210-2 近鉄、JR津駅西口下車 三交バス①番のりば 「津西ハイタウン」行 「西高下」下車 徒歩約1分 ※津西高校会場へは、往復ともに受験番号順に指定した臨時バスに乗車してください。 ※受験番号、乗車するバスの時刻等は、受験番号をお知らせするメール及び三重県教員採用のウェブサイト、Twitterにてご確認ください。
津商業高等学校	津市洪見町699 近鉄、JR津駅西口下車 西へ徒歩約15分
津工業高等学校	津市半田534 近鉄津新町駅下車 南へ徒歩約10分
津市立橋北中学校	津市桜橋2丁目38-1 近鉄、JR津駅東口下車 東へ徒歩約10分
三重県 総合教育センター	津市大谷町12 近鉄、JR津駅西口下車 西へ徒歩約10分
三重県立豊学校	津市藤方2304-2 近鉄、JR津駅東口下車 三交バス②番のりば 「米津」行または「イオンモール津南」行または「天白」行 「藤枝東」下車 東へ徒歩約7分

2 受験者への注意

- * 本要項冒頭の「受験者のみなさんへ」を必ず、確認してください。
- * 申込校種等に係るすべての試験項目について受験した人を合否判定の対象とします。欠席以後の試験は受験できません。
- * 遅刻した場合は、それ以降の試験を受験できませんので、時間には十分余裕を持って行動してください。
- * いずれの試験会場も、会場及び会場付近への自家用車、バイク等の乗り入れ（送迎含む）、駐車は厳禁です。違反した場合は評価の際、減点対象とします。また、発覚した場合には試験途中であっても車の移動等を行っていただきます。
- * 最寄駅から試験会場への移動についても、公共マナーを守ってください。
- * 自転車は、各会場の決められた場所に駐輪してください。
- * 試験会場への電話等での照会はしないでください。
- * クールビズを推進しておりますので、ネクタイ、上着等の着用は不要です。
- * 各会場及び会場敷地内は全面禁煙です。
- * 各会場及び会場敷地内では、携帯電話やスマートフォン、ウェアラブル端末などの通信機器類は、電源を切ってください。
- * 台風・地震等の非常災害発生に伴い、試験の実施を延期する場合があります。非常災害時等における試験の実施に関する問い合わせは、受験票に示す手順にしたがってください。
- * 選考結果は、本要項 15 頁に示す方法でお知らせします。受験会場周辺等で、三重県教育委員会が合否通知連絡の幹旋・ちらし等の配布を行うことはありませんので、ご注意ください。

【9】 選考方法等

1 選考方法等の概要

(1) 第1次選考試験

ア 試験の配点とねらい

試験項目		配点	ねらい
筆答試験 (専門)	小学校教諭(小学校英語教育推進者特別選考を除く) 特別支援学校教諭 養護教諭 栄養教諭	100点	教科・科目についての内容及び教科指導上の専門知識などを見ます。
	小学校教諭(小学校英語教育推進者特別選考のみ) 中学校教諭 高等学校教諭	150点	
筆答試験(教養)		50点	教職教養 ^{※1} (教職に関する知識と理解、学校教育に関する課題への認識等)及び一般教養に関する知識などを見ます。
その他 加点〔上限は15点 ^{※2} です。〕			

※1 生徒指導、特別支援教育、人権教育を含みます。

※2 小学校教諭、中学校教諭(英語)、高等学校教諭(英語)受験者については、英語以外の加点合計(上限15点)に、英語に係る加点分を加算します。

イ 選考方法

すべての試験項目について平均点等により定めた基準を満たす受験者の中から、採用見込数の2～3倍程度を基本として総合的に選考します。

なお、高等学校教諭の「地理歴史」、「理科」においては、専門領域^{※3}ごとに選考します。

※3 第1次選考試験筆答試験(専門)受験の際に選択した科目を指します。

(2) 第2次選考試験

ア 試験の配点とねらい

試験項目	配点	ねらい
技能・実技試験	100点 ^{※4}	それぞれの校種等、教科・科目に応じて求められる指導上の専門的知識、専門技能などを見ます。
論述試験	50点	教職に関する知識と理解、学校教育に関する課題の認識及び記述する力などを見ます。
面接(個人)	150点	教育に対する情熱と使命感、課題解決能力、豊かな人間性等を中心とした資質などを見ます。

※4 小学校教諭(小学校英語教育推進者特別選考を除く)と特別支援学校小学部教諭は、30点です。

イ 選考方法

すべての試験項目について平均点等により定めた基準を満たす受験者の中から、第1次選考試験の結果も含めて採用見込数の範囲内で総合的に選考します。

2 面接及び技能・実技試験の評価の観点等について

7月上旬から7月中旬に三重県教員採用のウェブサイト

(<https://www.pref.mie.lg.jp/KYOSYOK/HP/index.htm>)に掲載します。

3 選考結果

(1) 第1次選考試験の可否は令和2年8月7日(金)に、合格者の受験番号を県庁玄関掲示板に掲示するほか、受験者全員に文書で通知します。また、併せて三重県教員採用のウェブサイトにも合格者の受験番号を掲載します。

(2) 第2次選考試験の可否を発表する日は、第2次選考試験時に通知します。発表方法は、第1次選考試験と同様とします。

(3) 受験者全員に可否とともに、試験項目ごとの得点を通知します。

【10】 採用及び勤務条件

1 採用

- (1) 第2次選考試験に合格した人の中から欠員の状況に応じて合格の有効期間内に採用します。合格した人の採用予定日は令和3年4月1日です。なお、合格の有効期間は令和3年4月1日から令和4年3月31日までとします。
- (2) 養護教諭及び栄養教諭のうち、本要項3頁【5】3 ※5、※6の該当者は、当該教諭普通免許状取得の時点で採用するものとし、それまでの期間は臨時的任用とします。
- (3) 地方公務員法第22条第1項等の規定により、教諭については採用時から1年間、養護教諭及び栄養教諭については6ヶ月間を条件付採用とし、この間良好な成績で勤務したときに正式に採用するものとします。
- (4) 第2次選考試験に合格した人が大学院在学中で、教育職員免許状取得に係る課程修了を目的とした修学継続のため、修了後の採用を希望する場合は、本人の申出により合格の有効期間内で採用を留保します。なお、三重大学教職大学院の進学者にあつては、合格の有効期間を令和3年4月1日から令和5年3月31日までとし、その期間内で採用を留保します。
- (5) 選考試験に合格し、その後採用が内定した人であっても、次のア～エのいずれかに該当する場合は、採用資格を失います。

ア 学校教育法第9条または地方公務員法第16条に定める欠格条項に該当することとなった場合

* 下欄参照

イ 令和3年3月31日までに受験校種等及び教科・科目に係る教育職員免許状を取得することができない場合、または教員免許更新手続を終えていない場合（ただし、本要項3頁【5】3 ※5、※6の該当者については、令和2年度中に実施される保健師国家試験の合格により得られる資格を令和3年3月31日までに取得できない場合、または、令和3年3月31日までに栄養士資格を取得できない場合、および、令和3年3月31日までに「学力に関する証明書」に係る所定の単位を取得できない場合）

ウ 日本国籍を有しない人で、在留資格（教育）を必要とする人が、令和3年3月31日までにこれを取得できない場合

エ 採用を留保されている人が、合格の有効期間内に課程を修了することができない場合

* 学校教育法第9条、地方公務員法第16条に定める欠格条項

- 禁錮以上の刑に処せられた者
- 教育職員免許状がその効力を失い、当該失効の日から3年を経過しない者
- 教育職員免許状取上げの処分を受け、3年を経過しない者
- 当該地方公共団体において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
- 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

- (6) 加点申請にあたって虚偽の内容を申請した人（加点申請をしたにも関わらず結果的に資格等を取得できなかった人を含む）は、故意、過失の如何に関わらず、採用内定後であっても内定を取り消す場合があります。

2 勤務条件

(1) 給与

三重県の公立学校職員の給与に関する条例・規則に基づいて決定します。

《参考》

四年制大学の新卒者 231,699円（令和2年4月1日現在。今後変更される場合あり）

詳細は、三重県教員採用のウェブサイト（<https://www.pref.mie.lg.jp/KYOSYOK/HP/index.htm>）をご覧ください。

(2) 勤務時間

原則 8時30分～17時00分（月曜日～金曜日） 7時間45分

【11】 加点

1 加点について

本要項 19 頁の「加点一覧表」に示す資格・特技を有する人については、**申込時に申請があり、かつ要件を満たしている場合**は選考に際して加点します。なお、点数は下表のとおりとし、複数項目にわたる場合であっても加点の上限は 15 点とします。ただし、小学校教諭、中学校教諭（英語）、高等学校教諭（英語）受験者については、英語以外の加点合計（上限 15 点）に、英語に係る加点分を加算します。

ア 免許の組み合わせに応じて	5 点～15 点	カ 申込校種等と実績に応じて	4 点～15 点
イ 面接結果により、会話能力に応じて	0 点～15 点	キ 条件を満たしていれば	5 点
ウ 申込校種等に応じて	2 点～ 8 点	ク 申込校種等に応じて	8 点
エ 条件を満たしていれば	8 点	ケ 申込校種等に応じて	8 点～15 点
オ 条件を満たしていれば	15 点		

* 加点を申請する場合は、申込の際に申込画面上（または申込書）の「資格・特技に係る加点申請」の当該項目で、必ず「申請する」を選択してください。

* 申請にあたって虚偽の内容を申請した人（加点申請をしたにも関わらず結果的に資格等を取得できなかった人を含む）は、故意、過失の如何に関わらず、採用内定後であっても内定を取り消す場合があります。

2 加点に係る必要書類の提出について

加点を申請する人は、下表に示す必要書類を提出してください。提出方法及び期限は、本要項 37 頁を参照してください。なお、**期限までに提出されない場合は、いかなる場合も加点申請を認めることができません。**

ア 複数免許状 ^{*1}	免許を取得している人については、加点に係る取得済のすべての教育職員免許状の写し
ウ 英語資格	該当する資格について実施団体の発行する資格証明書または資格を証明できる書類の写し
エ 臨床心理士・公認心理師	臨床心理士・公認心理師資格登録書（登録番号を含む）の写し
オ 海技士	該当する資格の証明書の写し
カ スポーツ競技者実績	本要項20頁「スポーツ競技者実績加点」申請書 スポーツ競技者としての実績を客観的に証明できる書類 （競技団体が発行する証明書〈開封無効〉、賞状・記録証の写し等）
キ 司書教諭講習修了証書 ^{*2}	修了証書を取得している人については、修了証書の写し 修了証書を取得見込の人については、本要項21頁「司書教諭講習修了証書」取得見込証明書
ク 看護師	看護師免許証の写し （免許交付申請中の場合は、申請中であることがわかる書面の写し）
ケ 言語聴覚士等	該当する資格の証明書の写し

※1 複数免許状所有による加点を取得見込で申請する場合は、それぞれの取得見込年月日を必ず関係機関（一括申請の場合は大学等、個人申請の場合は各都道府県教育委員会等）に問い合わせ、令和3年3月31日までに取得できることを確認のうえ申し込んでください。（三重県教育委員会へ個人申請される場合の問い合わせ先は三重県教育委員会事務局教職員課制度・採用・免許班となります。）特に、実務経験をもとに個人申請で教育職員免許状を取得する場合は、個人申請する時期及び実際に免許が取得できる時期に注意してください。

なお、取得見込の人は、申込時点では証明書類を提出する必要はありませんが、免許を取得次第、写しを提出してください。併せて、所有する教育職員免許状が加点の対象となるか下表で確認してください。

※2 司書教諭講習修了証書による加点を取得見込で申請する場合は、申込後に本要項21頁の「司書教諭講習修了証書」取得見込証明書を、6月26日（金）（当日消印有効）までに提出してください。また、司書教諭講習修了証書を取得次第、修了証書の写しを提出してください。

3 資格・特技ア「複数免許状所有の組み合わせ」について

受験する校種等により、加点の対象となる教育職員免許状は異なります。まず、受験する校種を確認してから、対象となる教育職員免許状を有しているかを確認してください。

資格・特技ア「複数免許状所有の組み合わせ」確認表

受験する校種等		対象となる免許状（取得見込を含む。）
小学校		中学校教諭の普通免許状※3
		特別支援学校教諭の普通免許状
中学校		小学校教諭の普通免許状
		中学校教諭の普通免許状（申込教科以外）
		特別支援学校教諭の普通免許状
高等学校		特別支援学校教諭の普通免許状
		「情報」の普通免許状
特別支援学校	小学部	中学校教諭と高等学校教諭の同一教科の普通免許状
		自立活動教諭の普通免許状
	中学部 高等部	小学校教諭の普通免許状
		中学校教諭と高等学校教諭の同一教科の普通免許状（申込教科以外）
		自立活動教諭の普通免許状

※3 小学校英語教育推進者特別選考受験者が、中学校教諭「英語」を有している場合を除く。

加点一覧表

表中の○または△のついているものが加点申請ができる校種等です。ただし、△については表外の（注）を参照してください。

		加点申請ができる校種等					
		小 学 校 教 諭	中 学 校 教 諭	高 等 学 校 教 諭	特 別 支 援 学 校 教 諭	養 護 教 諭	栄 養 教 諭
資格・特技							
ア	複数免許状所有（取得見込を含む）						
	① 申込教科以外の中学校教諭普通免許状		○				
	② 小学校教諭と中学校教諭の普通免許状	△1	△1				
	③ 特別支援学校教諭の普通免許状	○	○	○			
	④ a) 中学校教諭と高等学校教諭の同一教科の普通免許状				○		
	b) 小学校教諭の普通免許状、または申込教科以外の中学校教諭と高等学校教諭の同一教科の普通免許状					○	
	⑤ 自立活動教諭の普通免許状				○	○	
	⑥ 「情報」の普通免許状			○			
イ	教育現場に必要なポルトガル語またはスペイン語を理解し、特に口頭で表現できる能力 ^{*1}	○	○	○	○	○	○
ウ	次の①～⑨のいずれかの資格所有 ^{*2}						
	① 実用英語技能検定（日本英語検定協会）1級	○	○	○	○	○	○
	② 「TOEFL」（国際教育交換協議会）iBT 100以上						
	③ 「TOEIC Listening & Reading Test」（国際ビジネスコミュニケーション協会）860以上						
	④ 実用英語技能検定（日本英語検定協会）準1級	○	○	○	○	○	○
	⑤ 「TOEFL」（国際教育交換協議会）iBT 80～99						
	⑥ 「TOEIC Listening & Reading Test」（国際ビジネスコミュニケーション協会）730～855						
	⑦ 実用英語技能検定（日本英語検定協会）2級	○					
	⑧ 「TOEFL」（国際教育交換協議会）iBT 54～79						
	⑨ 「TOEIC Listening & Reading Test」（国際ビジネスコミュニケーション協会）550～725						
エ	臨床心理士・公認心理師資格所有（現に有すること）	○	○	○	○	○	○
オ	「水産（海洋）」の受験者で3級以上の海技士（航海）、または「水産（機関）」の受験者で3級以上の海技士（機関）の資格所有（現に有すること）			△2			
カ	スポーツ競技者特別選考以外の受験者でスポーツで特に優れた実績（加点対象の競技及び実績は本要項20頁「スポーツ競技者実績加点」申請書を参照すること）	○	△3	○	○	○	○
キ	司書教諭講習修了証書所有（取得見込を含む）	○	○	○	○	○	
ク	「養護教諭」の受験者で看護師免許証所有（現に有すること） ^{*3}					○	
ケ	言語聴覚士、理学療法士、作業療法士の資格所有（現に有すること）	○	○	○	○	○	○

（注）△1: **小学校教諭受験者は中学校教諭普通免許状、中学校教諭受験者は小学校教諭普通免許状を有する場合**

小学校英語教育推進者特別選考受験者が中学校教諭「英語」免許状を有している場合を除く。

△2: 「水産」受験者のみ。

△3: スポーツ競技者特別選考受験者を除く。

*1: 申請者には7月21日(火)にポルトガル語またはスペイン語の面接試験を行い、加点を決定する。

面接はすべてポルトガル語またはスペイン語で行う。

*2: ②・③、⑤・⑥、⑧・⑨については平成30年(2018年)5月以降に受験したもので、公式認定証の発行されているものに限る。

*3: すでに看護師国家試験に合格し、出願時に看護師免許を申請中の人を含む。

申請日*

到達番号*

*は電子申請者のみ記入

月	日
---	---

—	—	—
---	---	---

令和3年度三重県公立学校教員採用選考試験

「スポーツ競技者実績加点」申請書

下表に掲げる競技において、次のいずれかに該当する人を加点します。ただし、この申請書の提出(郵送のみ)がない場合は、加点を認めることができません。

- (1) 国際大会(オリンピック競技大会、世界選手権、アジア競技大会及びそれらと同等の国際的な規模のスポーツの競技会)に日本代表として出場した競技者
- (2) 全国大会(国民体育大会、全日本選手権大会、全日本実業団選手権大会及びそれらと同等の全国的な規模のスポーツの競技会)に出場し、個人3位以上、あるいは団体8位以上の成績を収めた競技者

※スポーツ競技者特別選考受験者を除く。また、競技実績は高校卒業後かつ平成22年4月以降のものに限る。

【表】

アーチェリー、ウエイトリフティング、カヌー、空手道、弓道、クレ射撃、剣道、硬式野球、ゴルフ、サッカー、山岳(スポーツクライミング)、自転車、銃剣道、柔道、少林寺拳法、水泳、相撲、セーリング(ヨット)、ソフトテニス、ソフトボール、体操、卓球、テニス、トライアスロン、なぎなた、軟式野球、馬術、バスケットボール、バドミントン、バレーボール、ハンドボール、フェンシング、ボウリング、ボート、ボクシング、ホッケー、ライフル射撃、ラグビーフットボール、陸上競技、レスリング

受験校種・教科等	受験番号	(記入しない)
姓 名 ^{※1}		
生年月日	昭和・平成 年 月 日	
競技種目		
競技実績	大会種別 : 国際大会 ・ 全国大会 ※どちらかに○を付けること	
	大会正式名称 :	
	主催者 :	
	大会開催年月 : 平成 年 月 ※平成22年4月以降であること	
	大会成績 : 個人 ・ 団体 ^{※2} 位	
添付資料	<p>スポーツの実績を客観的に証明できる書類を申請書の裏面に添付する (競技団体が発行する証明書〈開封無効〉、賞状・記録証の写し等)</p> <p>※1 大会時から改姓等がある場合は、戸籍抄本の写し等、改姓等の事実を証明できる書類が必要です。</p> <p>※2 団体競技での実績加点を申請する場合は、該当の大会に選手登録されていたことの証明が必要です。</p>	

提出期限 令和2年6月1日(月) 当日消印有効

送り先 〒514-8570 津市広明町13番地 三重県教育委員会事務局教職員課 採用担当
 角形2号(33cm×24cm)の封筒に「スポーツ競技者実績加点」申請書在中と朱書し、
必ず簡易書留で郵送ください。

申請日*

到達番号*

*は電子申請者のみ記入

月 日

— — —

令和3年度三重県公立学校教員採用選考試験

「司書教諭講習修了証書」取得見込証明書

「司書教諭講習修了証書」の取得には、所定の単位を取得したのち、交付の申請手続が必要であり、申請から交付までには数ヶ月かかります。

したがって、令和3年3月31日までに「司書教諭講習修了証書」が取得不可能であるにも関わらず、取得見込として加点申請する過失を防ぐため、この証明書の提出を求めます。すでに「司書教諭講習修了証書」を取得している方は、この証明書の提出の必要はありません。また、取得見込の方で、この証明書の提出がない場合は、加点を認めることができません。万が一、加点申請後に「司書教諭講習修了証書」を今年度内に取得できないことが判明した場合は、速やかに教職員課採用担当（059-224-2959）まで連絡してください。

受験校種
教科等

名前：

該当する番号に○を付けて、所定の手続を行ってください。

1 すでに「司書教諭講習修了証書」に必要な単位を取得し、大学において交付の一括申請をしている。

大学の担当者から取得見込の証明を受けてください。

[令和 年 月 日]に一括申請するので、この者は、令和3年3月31日までに「司書教諭講習修了証書」を取得可能であることを証明します。

令和2年 月 日

大学名
連絡先 (TEL)

担当部署
担当者名

証明
印

2 今夏に開催される「学校図書館司書教諭講習」を利用して、「司書教諭講習修了証書」に必要な単位を取得し、交付の一括申請をするため、「学校図書館司書教諭講習」の受講申込をしている。

大学の担当者から取得見込の証明を受けてください。

この者は、申込の通り受講し、所定の単位を取得すれば、[令和 年 月 日]の一括申請に加えることができます。令和3年3月31日までに「司書教諭講習修了証書」を取得可能(見込)であることを証明します。

令和2年 月 日

大学名
連絡先 (TEL)

担当部署
担当者名

証明
印

3 上記1、2以外

上記1、2以外で、令和3年3月31日までに「司書教諭講習修了証書」の取得が可能である場合は、その方法等について記載したものを、この証明書とは別に添付してください。

提出期限 令和2年6月26日(金) 当日消印有効

送り先 〒514-8570 津市広明町13番地 三重県教育委員会事務局教職員課 採用担当
角形2号(33cm×24cm)の封筒に「司書教諭講習修了証書」取得見込証明書在中と**朱書**
し、**必ず簡易書留**で郵送ください。

【12】 障がい者を対象とした特別選考

○ ねらい

障がい者の雇用の促進を図るため、障がい者を対象に特別選考を実施します。

1 募集する校種・教科等

本要項2頁【3】に示すすべての校種・教科等

募集人数は本要項2頁【3】の採用見込数に含み、約10名です。注記については本要項3頁【3】注(1)～(6)と同じです。

2 申込資格

本要項3頁【5】に示す一般選考の申込資格に加えて、次の(1)～(3)のいずれかに該当する人。

- (1) 身体障害者手帳の交付を受け、その障がいの程度が1級から6級までの人。
- (2) 精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている人。
- (3) 療育手帳の交付を受けている人。

3 申込手続等

(1) 申込手続

本要項37頁【17】にしたがって、申込手続を行ってください。

(2) 必要書類（申込手続時に提出の必要がある書類）

ア 障がい者を対象とした特別選考申請書*（本要項23頁）

* 所定の用紙をダウンロードするか本要項をコピーし、必要事項を記入してください。

イ 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳いずれかの写し
交付番号、等級・区分、障害名の記載された部分

(3) 試験実施にあたり配慮を必要とする場合は、申請書（本要項23頁）の「2 受験に際して配慮を希望する事項」欄にその旨を記入してください。点字受験や手話通訳の必要の有無、車椅子及びルーペの使用の有無等についても、具体的に記入してください。なお、車椅子及びルーペは各自で準備してください。

(4) 「障がい者を対象とした特別選考」以外の特別選考の申込資格を併せて満たす場合は、該当する特別選考の試験項目による受験が可能です（選考種別は「障がい者を対象とした特別選考」のままとなります。）。他の特別選考の試験項目による受験を希望する場合は、申請書（本要項23頁）の「3 他の特別選考の試験項目での受験希望」欄に記入するとともに、他の特別選考に関する必要書類を期限までに併せて提出してください。

4 選考方法等

提出された書類をもとに審査し、特別選考の対象となった場合

(1) 試験項目については本要項4頁【6】1及び10頁【7】1、加点については本要項17頁【11】1に示すとおりです。

ただし、上記3(4)の対象となった場合は、その特別選考と同じ試験項目とします。

(2) 選考方法については、本要項15頁【9】に示すとおりです。

(3) 試験実施にあたっては、申込書及び「障がい者を対象とした特別選考申請書」の記載内容を確認し検討のうえ、必要に応じて試験項目の代替、免除等の措置を講じます。

選考種別	試験項目	第1次選考試験		第2次選考試験		
		筆答試験		論述等	技能・実技	面接
		教養	専門			
障がい者を対象とした特別選考		○	○	○	○*	○

* 本要項10頁で指定した校種・教科等のみ実施

申請日*

到達番号*

*は電子申請者のみ記入

月	日
---	---

—	—	—
---	---	---

令和3年度三重県公立学校教員採用選考試験

障がい者を対象とした特別選考申請書

校種等（○で囲む）	教科・科目	受験番号（記入しない）
小学校・中学校 高等学校・特別支援学校 養護教諭・栄養教諭		

フリガナ	連絡先※ ¹
名前	電話（ ） — 携帯（ ） —

※1 聴覚に障がいのある方をはじめ、電話での連絡が難しい場合は、「2 受験に際して配慮を希望する事項」欄に連絡手段と連絡先を記入してください。

1 障がいの状況（該当する項目のみ記入する。）

身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳（○で囲む）			
交付都道府県		交付番号	第 号
交付年月日	昭和・平成・令和	年	月 日
手帳に記載された等級もしくは区分			（ ）
障害名欄			

2 受験に際して配慮を希望する事項

（注） 記載内容について担当から確認する場合があります。

3 他の特別選考の試験項目での受験希望

希望の有無（○で囲む）	試験項目の変更を希望する選考種別 *希望する場合のみ
希望する ・ 希望しない	

*本要項3頁【4】から選んで記入してください。

（注） 本要項22頁【12】3(4)の場合のみ希望できます。希望する場合は、他の特別選考に関する必要書類を期限までに併せて提出してください。

【裏面に身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳のいずれか該当するものの写し（交付番号、等級または区分、障害名の記載された部分）を貼付してください。】

【13】 スポーツ競技者特別選考

○ ねらい

三重とこわか国体において、競技者としての活躍が期待でき、国体後も引き続き専門性の高い指導者として活躍できる人の採用をねらいとして、特別選考を実施します。

1 募集する校種・教科、競技

中学校教諭 「保健体育」 ソフトテニス、剣道、ソフトボール、陸上競技

採用を見込んでいるのは各競技1名です。注記については本要項3頁【3】注(1)(2)(4)と同じです。

2 申込資格

平成3年4月2日以降に生まれた人で、本要項3頁【5】に示す一般選考の申込資格1・3に加えて、上記の競技において、次のいずれかに該当する人としてします。

- (1) 国際大会（オリンピック競技大会、世界選手権、アジア競技大会及びそれらと同等の国際大会）に日本代表として出場した競技者
- (2) 全国大会（国民体育大会、全日本選手権大会、全日本実業団選手権大会及びそれらと同等の全国大会）に出場し、個人3位以上、あるいは団体8位以上の成績を収めた競技者

※ (1)、(2)とも、競技実績は高校卒業後で平成29年4月以降のものに限ります。ただし、オリンピックなど4年に1度開催される国際大会については、平成28年4月以降に開催された直近の大会出場実績も含めます。

3 申込手続等

(1) 申込手続

本要項37頁【17】にしたがって、申込手続を行ってください。

(2) 必要書類（申込手続時に提出の必要がある書類）

ア スポーツ競技者特別選考 実績報告書*（本要項25頁）

* 所定の用紙をダウンロードするか本要項をコピーし、必要事項を記入してください。

イ 申込資格に該当することを客観的に証明できる書類

競技団体が発行する証明書（開封無効）、賞状・記録証の写し等

4 選考方法等

提出された書類をもとに審査し、特別選考の対象となった場合

- (1) 試験項目については本要項4頁【6】1及び10頁【7】1、加点については本要項17頁【11】1に示すとおりです。

ア 第1次選考試験

一般選考における「筆答試験（専門）」を免除、「筆答試験（教養）」に代えて「小論文」を実施します。

イ 第2次選考試験（第1次選考試験合格者に対して実施）

一般選考における「技能・実技試験」を免除します。

- (2) 選考方法は、「筆答試験（教養）」、「筆答試験（専門）」、「技能・実技試験」を除き本要項15頁【9】に示すとおりです。

選考種別	試験項目	第1次選考試験			第2次選考試験		
		筆答試験			論述	技能・実技	面接
		教養	小論文	専門			
スポーツ競技者特別選考			○		○		○

申請日*

月	日
---	---

到達番号*

*は電子申請者のみ記入

-	-	-
---	---	---

令和3年度三重県公立学校教員採用選考試験

スポーツ競技者特別選考 実績報告書

フリガナ		受験番号（記入しない）
名 前		
大会等での実績	（開催年月日順ではなく、実績の中で優れていると考えられるものを、上位から順に3つまで記載してください。）	
1	大会の名称	
	競技種目及び結果	
	主催者	
	開催年月日	平成 令和 年 月 日
	備考	
2	大会の名称	
	競技種目及び結果	
	主催者	
	開催年月日	平成 令和 年 月 日
	備考	
3	大会の名称	
	競技種目及び結果	
	主催者	
	開催年月日	平成 令和 年 月 日
	備考	

（注） 実績を客観的に証明できる書類（競技団体が発行する証明書〈開封無効〉、賞状・記録証の写し等）を裏面に貼付して提出してください。

【14】 小学校英語教育推進者特別選考

○ ねらい

小学校における英語教育の推進に貢献できる人の採用をねらいとして、特別選考を実施します。

1 募集する校種等

小学校教諭

募集人数は本要項2頁【3】の小学校教諭の採用見込数に含み、約10名です。注記については本要項3頁【3】注(1)(2)(4)(5)と同じです。

2 申込資格

本要項3頁【5】に示す一般選考の申込資格1・2に加えて、小学校教諭の普通免許状かつ中学校教諭英語の普通免許状を有する人、または、令和3年3月31日までに取得見込の人とします。

3 申込手続等

(1) 申込手続

本要項37頁【17】にしたがって、申込手続を行ってください。

(2) 必要書類（申込手続時に提出の必要がある書類）

ア 小学校教諭の普通免許状の写し*

イ 中学校教諭英語の普通免許状の写し*

* アまたはイを、令和3年3月31日までに取得見込の人は、提出不要です。

ただし、期限までに取得できない場合は、採用内定後であっても内定を取り消します。

4 選考方法等

提出された書類をもとに審査し、特別選考の対象となった場合

(1) 試験項目については本要項4頁【6】1及び10頁【7】1、加点については本要項17頁【11】1に示すとおりです。一般選考における「筆答試験（教養）」を免除します。第2次選考試験では「中学校教諭（英語）の技能・実技」を実施します。

(2) 選考方法は、「筆答試験（教養）」を除き、本要項15頁【9】に示すとおりです。

(3) 第1次選考試験の「筆答試験（専門）」は、英語分野の問題と小学校全範囲にわたる問題を出題します。配点は英語分野が100点、小学校全科が50点とします。

選考種別	試験項目	第1次選考試験		第2次選考試験		
		筆答試験		論述	技能・実技	面接
		教養	専門			
小学校英語教育推進者特別選考			○* ¹	○	○* ²	○

* 1 第1次選考試験の「筆答試験（専門）」は、英語分野の問題と小学校全範囲にわたる問題を出題します。配点は英語分野が100点、小学校全科が50点とします。

* 2 「中学校教諭（英語）の技能・実技」の試験内容

【15】 社会人特別選考

○ ねらい

専門的な知識及び技能と豊かな経験を有する社会人に門戸を開き、その経験が教育に生かされることをねらいとして、特別選考を実施します。

1 募集する校種・教科等

本要項2頁【3】に示すすべての校種・教科等

募集人数は本要項2頁【3】の採用見込数に含みます。注記については本要項3頁【3】注(1)～(6)と同じです。

2 申込資格

本要項3頁【5】に示す一般選考の申込資格に加えて、平成22年4月1日以降に民間企業・官公庁等（国公立私立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校において教諭等として従事する場合を除く。）に継続して3年以上、正規の職員等として従事した人。ただし、系列会社等への転勤は継続期間に含みませんが、国公立私立学校の期限付または臨時的任用の実習助手、非常勤講師は該当しません。

3 申込手続等

(1) 申込手続

本要項37頁【17】にしたがって、申込手続を行ってください。

(2) 必要書類（申込手続時に提出の必要がある書類）

ア 社会人特別選考 履歴書*（本要項28頁）

イ 社会人特別選考 在職証明書*（本要項29頁）

* ア、イは所定の用紙をダウンロードするか本要項をコピーし、必要事項を記入してください。

4 選考方法等

提出された書類をもとに審査し、特別選考の対象となった場合

(1) 試験項目については本要項4頁【6】1及び10頁【7】1、加点については本要項17頁【11】1に示すとおりです。一般選考における「筆答試験（教養）」に代えて「小論文」を実施します。

(2) 選考方法は、「筆答試験（教養）」を除き、本要項15頁【9】に示すとおりです。

選考種別	試験項目	第1次選考試験			第2次選考試験		
		筆答試験			論述等	技能・実技	面接
		教養	小論文	専門			
社会人特別選考		○	○	○	○*	○	

* 本要項10頁で指定した校種・教科等のみ実施

申請日*

月	日
---	---

到達番号*

*は電子申請者のみ記入

—	—	—
---	---	---

令和3年度三重県公立学校教員採用選考試験

社会人特別選考 履歴書

校種等		教科・科目	
フリガナ		生年月日	昭和 平成 年 月 日
名前			
連絡先	電話 ()	—	
	携帯 ()	—	

<学歴> 高等学校卒業以降

年月	学校名	卒業・修了
年 月		
年 月		
年 月		

<職歴>

在職期間	事業所名	常勤 非常勤	職名
～			
～			
～			
～			
～			
～			
～			
～			

(注) 平成22年4月1日以降に、正規の職員等として勤務した事業所による在職証明書(本要項29頁の様式)1部を添えて提出してください。

申請日*

月	日
---	---

到達番号*

*は電子申請者のみ記入

—	—	—
---	---	---

令和3年度三重県公立学校教員採用選考試験

社会人特別選考 在職証明書

名前 _____

生年月日 昭和 _____ 年 _____ 月 _____ 日
平成

上記の者は、

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 ~ 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日まで
令和

(_____) として在職していたことを証明します。

令和2年 _____ 月 _____ 日

証 明 者

所在地 _____

事業者名 _____

代表者名 _____

印

- (注)
- ・括弧内には職名等を記入してください。
 - ・印は代表者の職印等とします。
 - ・平成22年4月1日以降に民間企業・官公庁等において、継続して3年以上、正規の職員等として従事した実務経験を証明してください。

【16】 教職経験者等を対象とした特別選考

○ ねらい

教職に関する優れた知識・技能を有し、かつ教員としての資質に富む人材を積極的に確保することをねらいとして、次の[I][II]について、それぞれ実施します。

[I] <正規教諭等 対象>

国立または公立の学校において、正規の教諭、主幹教諭、指導教諭、養護教諭または栄養教諭として勤務し、次の申込資格を満たす人

1 募集する校種・教科等

本要項2頁【3】に示すすべての校種・教科等

募集人数は本要項2頁【3】の採用見込数に含みます。注記については、本要項3頁【3】注(1)～(6)と同じです。

2 申込資格

本要項3頁【5】に示す一般選考の申込資格に加えて、国立または公立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校または特別支援学校において、正規の教諭、主幹教諭、指導教諭、養護教諭または栄養教諭として、令和2年3月31日現在、休職等の期間を除き、3年以上の勤務経験を有する人とします。

3 申込手続等

(1) 申込手続

本要項37頁【17】にしたがって、申込手続を行ってください。

(2) 必要書類（申込手続時に提出の必要がある書類）

ア 人事記録の写し*

* 人事記録とは、人事関係の発令（採用から異動、号給、休職、退職等）が記載された書類で様式は都道府県市により異なり、「人事カード」や「履歴書」等と呼ばれます。また、人事記録の写しには**任命権者または所属長の証明を必要**とします。

書類が特定できない場合は、三重県教育委員会事務局 教職員課 採用担当（059-224-2959）に問い合わせてください。

4 選考方法等

提出された書類をもとに審査し、特別選考の対象となった場合

(1) 試験項目については本要項4頁【6】1及び10頁【7】1、加点については本要項17頁【11】1に示すとおりです。一般選考における「筆答試験（教養）」を免除します。

(2) 選考方法は、「筆答試験（教養）」を除き、本要項15頁【9】に示すとおりです。

選考種別	試験項目	第1次選考試験		第2次選考試験		
		筆答試験		論述等	技能・実技	面接
		教養	専門			
教職経験者等を対象とした特別選考 [I]			○	○	○*	○
教職経験者等を対象とした特別選考 [II]	人物証明書に代える		○	○	○*	○

* 本要項10頁で指定した校種・教科等のみ実施

[Ⅱ] <常勤講師等 対象>

三重県内の公立小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校または三重大学教育学部附属学校において、常勤講師または養護助教諭（常勤）として勤務し、次の申込資格を満たす人

1 募集する校種・教科等

校種等：小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭、特別支援学校教諭及び養護教諭

教科・科目：上記校種等のうち、本要項2頁【3】に示すすべての教科・科目

募集人数は本要項2頁【3】の採用見込数に含みます。注記については本要項3頁【3】注(1)～(6)と同じです。

2 申込資格

本要項3頁【5】に示す一般選考の申込資格に加えて、次のいずれかに該当する人としてします。
なお、申込資格の別による選考への影響はありません。

- (1) 平成27年4月1日から令和2年3月31日までの5年間のうち36月以上、以下のアまたはイの職種で任用されていた人。任用合計月の算定方法は、本要項35頁「教職歴申告書について」を参照してください。
- (2) 令和2年度三重県公立学校教員採用選考試験（昨年度実施）において、申込と同じ校種・教科等の第1次選考試験に合格し、かつ令和2年4月から第1次選考試験実施日までの期間に2月以上、以下のアまたはイの職種で任用される予定がある人

ア 小学校、中学校、高等学校または特別支援学校教諭申込者においては常勤講師 イ 養護教諭申込者においては養護助教諭（常勤）
--

3 申込手続等

(1) 申込手続

本要項37頁【17】にしたがって、申込手続を行ってください。

(2) 必要書類

ア 人物証明書

次頁「人物証明書について」にしたがい、所属長に証明書の作成及び発送を依頼し、内諾を得る。

イ 教職歴申告書(本要項36頁)

本要項35頁「教職歴申告書について」を参考にして作成し、以下の書類を添付して申込受付期間内に提出してください。

2 申込資格(1)の場合 任命権者が三重県教育委員会でない期間については、任用機関による「在職証明書」（原本）を添付してください。任命権者が三重県教育委員会である期間については、人事異動通知書等の添付書類は不要です。

2 申込資格(2)の場合 令和2年4月から第1次選考試験実施日までの期間に、2月以上任用されることを証明する書類（人事異動通知書の写し等*）を添付してください。

* 人事異動通知書の写し等について

- ・ A4サイズにコピーし、折り曲げずに添付してください。
- ・ 電子申請の場合は、申請時の返信メールに記載の到達番号を右上に記入してください。

4 選考方法等

提出された書類をもとに審査し、特別選考の対象となった場合

- (1) 試験項目については本要項4頁【6】1及び10頁【7】1、加点については本要項17頁【11】1に示すとおりです。一般選考における「筆答試験（教養）」に代えて「人物証明書」による選考を実施します。
- (2) 選考方法は、「筆答試験（教養）」を除き、本要項15頁【9】に示すとおりです。

教職経験者等を対象とした特別選考〔Ⅱ〕の申込に係る提出書類について

「教職経験者等を対象とした特別選考〔Ⅱ〕」を申し込む場合は、次の2つの書類の提出が必要となります。

- 人物証明書 ……受験者について、所属長が勤務の状況や教員としての適性等を評価するものであり、所属長が作成し発送する。
- 教職歴申告書 ……受験者が作成し発送する。

このため、「人物証明書」の作成及び発送を、以下の【依頼先】の所属長に依頼し、事前に内諾を得ておくことが必要です。

提出期限までに、「人物証明書」及び「教職歴申告書」が提出先に届かない場合には、教職経験者等を対象とした特別選考〔Ⅱ〕の申込を受け付けることができません。

(作成及び提出のイメージ)

人物 証明書	申込手順をとる前に作成を依頼し、内諾を得る 受験者⇒所属長	⇒	6月11日 (当日消印有効)までに 所属長→作成及び簡易書留で発送
教職歴 申告書	受験者本人→作成	⇒	6月1日 (当日消印有効)までに 受験者→簡易書留で発送

「人物証明書について」

【依頼先】

- ① 令和2年4月1日以降に、講師または養護助教諭として(常勤・非常勤を問わず)任用されている人は、申込時に任用されている学校の所属長に依頼する。
- ② ①以外の方は、令和2年3月31日以前に常勤講師または養護助教諭(常勤)として任用されていた学校のうち、最後に任用されていた学校の**現在の所属長**に依頼する。

※ 36月以上の期間を複数校で任用されていた場合であっても、上に示す学校の所属長にのみ依頼すること。

【依頼方法】

受験者は次のものを準備し、該当の所属長に作成及び発送を依頼し内諾を得る。

- 「人物証明書」についてのお願い(教員採用ウェブサイトからのダウンロード、もしくは本要項33頁をコピーして使用)
- 「人物証明書」様式(教員採用ウェブサイトからのダウンロード、もしくは本要項34頁をコピーして使用)
- ※ 様式上部の「校種等」「教科・科目」、また、電子申請をした場合はその日付「申請日」と「到達番号」を記入してから、様式(データ形式もしくは用紙)を所属長へ渡す。
- 送付用封筒(404円分の切手を貼った長形3号封筒(23.5cm×12.0cm)に次の宛先を記入し、「簡易書留」と朱書したもの)

宛先：〒514-8570 津市広明町13番地

三重県教育委員会事務局教職員課 制度・採用・免許班 採用担当

所属長様へ 「人物証明書」についてのお願い

三重県教育委員会

「人物証明書」は、令和3年度三重県公立学校教員採用選考試験「教職経験者等を対象とした特別選考〔Ⅱ〕」の受験者について、所属長が勤務状況や教員としての適性等を評価するものです。

1 様式について

「人物証明書」の様式は受験者が準備し、所属長にお渡しします。

※ 様式上部の「校種等」「教科・科目」、また、電子申請をした場合はその日付「申請日」と「到達番号」は受験者が記入し、記入後の様式（データ形式もしくは用紙）を所属長へ渡すように指示をしています。

2 記入について

- ① 受験者の当該学校における勤務状況について記入してください。
- ② 「上記勤務校における任用期間」欄は、その学校に勤務した際の人事異動通知書に書かれている期間を記入してください。
 - ※ 36月に満たない場合であっても構いません。
 - ※ 1日の空白期間があっても、同一勤務校で引き続き任用されている場合には、その期間は連続したものとして記入してください。2日以上空白期間がある場合には、連続した期間とはせず、直近の期間を記入してください。
- ③ 「評定」欄については、
5：「優れている」、4：「やや優れている」、3：「普通である」、
2：「やや劣っている」、1：「劣っている」
の5段階で評価してください。
- ④ 「特記すべき事項」欄には、受験者の実践・実績等を記入してください。
- ⑤ 「総合所見」欄には、現在の勤務状況等をふまえ、活躍が期待できる優れた点と課題に思われる点等を具体的に記入してください。
- ⑥ 「総合評定」欄は、各観点の評定と特記すべき事項、総合所見の記述内容から受験者を総合的に評価してください。基準は③と同じです。
- ⑦ 受験者が短期間の勤務のため評価が難しい場合は、お手数をおかけしますが前任の所属長等に当該受験者の状況を確認のうえ、評価いただくようお願いします。

3 発送について

作成していただいた「人物証明書」は、受験者から受け取った郵送用の長形3号封筒（23.5 cm×12.0 cm）に入れて厳封のうえ、記入していただいた所属長様を差出人として、簡易書留で郵送してください。採用担当窓口への持参による提出はできませんのでご注意ください。

令和2年6月11日（木）[当日消印有効]までに発送していただきますよう、よろしくお願ひします。

受験者は※、*欄を記入する。(ただし、*は電子申請者のみ)

校種等 ※	教科・科目 ※	申請日 *	
		到達番号 *	
申込資格について			
三重県内の公立学校または三重大学教育学部附属学校において、常勤講師または養護助教諭（常勤）として、次のいずれかに該当する人 ①過去5年間のうち、36月以上の勤務経験を有する人 ②令和2年度三重県公立学校教員採用選考試験において、申込と同じ教科等の第1次選考試験に合格し、かつ、令和2年4月から第1次選考試験実施日までの期間に、2月以上任用される予定がある人			申込資格 ※

人物証明書

受験者	勤務校（現在もしくは当時）	職名
フリガナ		
名前	上記勤務校における任用期間（人事異動通知書に記載された期間）	
	年 月 日 ~	年 月 日

観 点		評 定
情熱・意欲等	児童・生徒に対し、愛情を持って接しているか。	
	自発的・積極的に行動しているか。	
	自己の失敗や誤りに対して責任を回避せず、責任を持って処理しているか。	
指導力等	児童・生徒の人格と個性を尊重し、公平に接しているか。	
	的確な判断や適切な評価をしているか。	
	専門的な知識・技能があるか。	
	適切な指導計画を立てているか。指導技術があるか。	
協調性等	協調性があり、協働してことにあたることができるか。	
	児童・生徒・保護者や職員との信頼関係を築いているか。	
	人権感覚と社会人としての良識を持っているか。	
	自己管理能力はあるか。	

特記すべき事項	
---------	--

総合所見		総合評定

上記のとおり証明する。

令和2年 月 日

所属名

職・名前

公印

「教職歴申告書について」

「教職経験者等を対象とした特別選考〔Ⅱ〕」の受験者は所定の様式をダウンロードまたはコピーし、下の【記入例】を参考に作成して、本要項 37 頁【17】にしたがって提出してください。提出した「教職歴申告書」の教職歴合計月数が規定の月数に満たない場合は、この特別選考での受験はできませんので、提出期限と同様に、教職歴月数の算定にも十分注意してください。

なお、記入欄が足りない場合は、その欄をコピーし、上面に貼付してください。

【記入例】

校種等 (○で囲む) 小学校・中学校 高等学校・特別支援学校 養護教諭	教科・科目 数学	申請日 * 5月 00日 No.	*は電子申請者のみ記入 (この欄は受験者は記入しない) No.
		到達番号 * ○○○-○○○-○○○-○○○	

電子申請者のみ

1 受験者		フリガナ 名前 ミエカタ ミコ	生年月日 昭和 2年0月△△日 平成	連絡先 電話 (059)○○○○-▽▽▽▽ 携帯 (090)○○○○-▽▽▽▽
-------	--	-----------------------	-----------------------------	---

2 教職歴 (平成27年4月1日～令和2年3月31日について、古い順に記入すること。)				
勤務校名	任用期間	月数	職名	
例1 → 三重県立A高等学校	平成27年4月1日～平成28年3月30日	12月	講師・養護教諭 その他 ()	
例2 → 三重県立B高等学校	平成28年4月1日～平成28年9月30日	6月	講師・養護教諭 その他 ()	
例2 → 三重県立B高等学校	平成28年10月2日～平成29年3月30日	6月	講師・養護教諭 その他 ()	
例3 → 三重県立C高等学校	平成29年4月1日～平成30年2月3日	11月	講師・養護教諭 その他 ()	
例4 → ○○市立D中学校	平成30年6月15日～平成31年1月10日	8月	講師・養護教諭 その他 () (〇〇市常勤)	
例5 → 三重県立E高等学校	平成31年4月30日～令和元年6月6日	7月	講師・養護教諭 その他 ()	
例5 → 三重県立F高等学校	令和元年6月27日～令和元年7月4日		講師・養護教諭 その他 ()	
例5 → 三重県立E高等学校	平成令和 元年 7月17日～平成令和 元年10月16日		講師・養護教諭 その他 ()	
合計月数		50月		

任命権者が三重県教育委員会でない場合、〇〇市教育委員会による「在職証明書」(原本)の添付が必要

申込資格のどちらに該当するかを記入

申込資格②の場合は記入
受験票の紛失等により前年度の受験番号が不明な場合は、採用担当(059-224-2959)に問い合わせてください

三重県教育委員会が任命権者である期間は添付不要

記入日現在学校に勤務している者は記入
現在任用されていない場合は記入不要

所属長に作成を依頼し内諾を得たら○

「教職経験者等を対象とした特別選考〔Ⅱ〕」の申込資格に係る勤務についてのみ記入してください。
職名は、三重県教育委員会により任用されていた人は講師・養護教諭のいずれかを○で囲み、三重県教育委員会以外により任用されていた人は「その他」の空欄に具体的に記入してください。
教職歴欄が不足する場合は各自で教職歴欄をコピーして付けてください。

現在の勤務校名	任用期間 (予定)	職名
8 → 三重県立〇〇高等学校	平成令和 2年4月10日～令和 2年9月30日	講師 (非常勤)

任用期間 (予定) と職名欄には、人事異動通知書に記載されている職名と任用期間を記入してください。
複数の学校に任用されている非常勤講師の場合は、選時間数の一番多い学校を現在の勤務校としてください。

4 【申込資格】
三重県内の公立小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校または三重大学教育学部附属学校において、常勤講師または養護教諭(常勤)として、次のいずれかに該当する人
①過去5年間のうち、36月以上の勤務経験を有する人
②令和2年度三重県公立学校教員採用選考試験において、申込と同じ教科等の第1次選考試験に合格し、かつ、令和2年4月から第1次選考試験までの期間に、2月以上任用される予定がある人^{※1}

※1 申込資格②で申し込む人は、下欄に令和2年度三重県公立学校教員採用選考試験(昨年度実施)における受験校種等、教科・科目と受験番号を記入してください。

校種等	教科・科目	受験番号
		1

5 チェック欄
所属長へ人物証明書作成を依頼し、内諾を得ましたか

6 必要書類 (在職証明書の原本もしくは人事異動通知書の写し等) を添付しましたか^{※2}

※2 申込資格①の場合：三重県教育委員会が任命権者でない期間については、任用機関による「在職証明書」(原本)を添付してください。(三重県教育委員会が任命権者である期間については、添付不要です。)
申込資格②の場合：令和2年4月から第1次選考試験実施日までの期間に2月以上任用されることを証明する書類(人事異動通知書の写し等)を添付してください。

- 平成27年4月1日～令和2年3月31日の教職歴について、人事異動通知書に記載されている事項を任用期間の古い順に上から記入する。
- 原則として任用期間毎に記入する。ただし、同一年度で日を空けずに同一学校、同一職種で任用されている場合はまとめて1行で記入する。
例1 平成27年4月1日～同年9月30日と、同年10月1日～平成28年3月30日にA高等学校講師
例2 平成28年4月1日～同年9月30日と、同年10月2日～平成29年3月30日にB高等学校講師
- 月数は各月の1日でも任用されているときは、1月とする。ただし、同一年度の引き続かない任用で、次の任用開始日が直前の任用終了日と同一月である場合は、その月数は1月とする。
例3 平成29年4月1日～平成30年2月3日にC高等学校講師 → 「11月」
例4 平成30年6月15日～平成31年1月10日に〇〇市立D中学校〇〇市常勤 → 「8月」
例5 平成31年4月30日～令和元年6月6日にE高等学校講師
令和元年6月27日～同年7月4日にF高等学校講師
令和元年7月17日～同年10月16日にE高等学校講師 → まとめて「7月」
- 合計月数は、月数の合計とする。

*は電子申請者のみ記入

校種等(○で囲む) 小学校・中学校 高等学校・特別支援学校 養護教諭	教科・科目	申請日 *	(この欄は受験者は記入しない)
		到達番号 *	No.

教 職 歴 申 告 書

1 受験者	フリガナ 名 前	生年月日	連絡先
		昭和 平成 年 月 日	電話 () - 携帯 () -

2 教職歴(平成27年4月1日～令和2年3月31日について、古い順に記入すること。)			
勤務校名	任用期間	月数	職名
	平成 令和 年 月 日～平成 令和 年 月 日		講 師 ・ 養護助教諭 その他 ()
	平成 令和 年 月 日～平成 令和 年 月 日		講 師 ・ 養護助教諭 その他 ()
	平成 令和 年 月 日～平成 令和 年 月 日		講 師 ・ 養護助教諭 その他 ()
	平成 令和 年 月 日～平成 令和 年 月 日		講 師 ・ 養護助教諭 その他 ()
	平成 令和 年 月 日～平成 令和 年 月 日		講 師 ・ 養護助教諭 その他 ()
	平成 令和 年 月 日～平成 令和 年 月 日		講 師 ・ 養護助教諭 その他 ()
	平成 令和 年 月 日～平成 令和 年 月 日		講 師 ・ 養護助教諭 その他 ()
	平成 令和 年 月 日～平成 令和 年 月 日		講 師 ・ 養護助教諭 その他 ()
	平成 令和 年 月 日～平成 令和 年 月 日		講 師 ・ 養護助教諭 その他 ()
合計月数			月

「教職経験者等を対象とした特別選考〔Ⅱ〕」の申込資格に係る勤務についてのみ記入してください。

職名は、三重県教育委員会により任用されていた人は講師・養護助教諭のいずれかを○で囲み、三重県教育委員会以外により任用されていた人は「その他」の空欄に具体的に記入してください。

教職歴欄が不足する場合は各自で教職歴欄をコピーして付け足してください。

3 現在の勤務校名	任用期間(予定)	職名
	平成 令和 年 月 日～令和 年 月 日	

任用期間(予定)と職名欄には、人事異動通知書に記載されている職名と任用期間を記入してください。

複数の学校に任用されている非常勤講師の場合は、週時間数の一番多い学校を現在の勤務校としてください。

4 【申込資格】	
三重県内の公立小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校または三重大学教育学部附属学校において、常勤講師または養護助教諭(常勤)として、次のいずれかに該当する人	
①過去5年間のうち、36月以上の勤務経験を有する人	
②令和2年度三重県公立学校教員採用選考試験において、申込と同じ教科等の第1次選考試験に合格し、かつ、令和2年4月から第1次選考試験までの期間に、2月以上任用される予定がある人 ^{※1} 。	

※1 申込資格②で申し込む人は、下欄に令和2年度三重県公立学校教員採用選考試験(昨年度実施)における受験校種等、教科・科目と受験番号を記入してください。

校種等	教科・科目	受験番号

チェック欄

5 所属長へ人物証明書作成を依頼し、内諾を得ましたか		6 必要書類(在職証明書の原本もしくは人事異動通知書の写し等)を添付しましたか ^{※2}	
----------------------------	--	---	--

※2 申込資格①の場合：三重県教育委員会が任命権者でない期間については、任用機関による「在職証明書」(原本)を添付してください。(三重県教育委員会が任命権者である期間については、添付不要です。)

申込資格②の場合：令和2年4月から第1次選考試験実施日までの期間に2月以上任用されることを証明する書類(人事異動通知書の写し等)を添付してください。

【17】 申込手続 (原則、電子申請により行ってください。)

1 電子申請による申込手続

申込受付期間

令和2年5月13日(水)午前10時～同年6月1日(月)午後5時

※ 期間中はいつでも申込できますので、余裕を持って申し込んでください。

【手続の流れ】 (<https://www.pref.mie.lg.jp/KYOSYOK/HP/menkyo/p0013600002.htm> を参照)

①メールアドレスの取得

フリーメールでの申込は可能です。**携帯電話及びスマートフォンのメールアドレスはメール不達の原因となりますので使用しないでください。**このことによるメール不達の場合、事務局は責任を負いかねます。

プリンタの準備

※ 申込内容を印刷するためプリンタが必要となります。

②三重県電子申請届出システムで申請者IDを取得

※ 教員採用の電子申請のページにリンクがあります。手続にはウェブサイトにある「**申請者情報登録操作手引書**」を必要に応じて読んでください。
※ 既に三重県の電子申請・届出システムの申請者ID・パスワードを持っている方は新たに取得する必要はありません。

④加点を申請する場合

「申請者ID」と「パスワード」は事務局では調べることができません。忘れると、受験番号を確認することができません。

加点を申請する場合、申込時に加点に係る書類の添付が必要です(郵送可)。必要書類を確認し、画像データにするなど、添付ファイルを事前に用意してください。

【注意】不鮮明な画像では証明資料とならず、加点を認めることができません。

文字が鮮明に表示されているか、免許状・証明書の一部だけでなく全体が表示されているか等、必ず画像の確認をしてください。

③電子申請手続

1. 三重県教員採用ウェブサイトにある「電子申請による申込」に移動
2. ページ内にある申込手順及び留意事項を理解してから手続を進めてください。
3. ページ下部の  をクリックし、申請画面に移動
4. 三重県電子申請届出システムの「申請者ID」と「パスワード」を入力してログイン
5. **申請内容は誤りがないよう正確に入力してください。故意、過失の如何に関わらず内定取消となる場合があります。特に加点申請については、十分に理解したうえで申請してください。**
6. 申請データを送信
7. 申込完了画面の確認
8. **到達通知メールの確認** ←

申込完了後30分以上経っても、到達通知メールが届かない場合は、何らかの不具合が生じた可能性があります。再度、③から申し込んでください。			
問い合わせ先	スマート改革推進課	情報システム運用班	電話 059-224-2623
	教職員課	制度・採用・免許班	電話 059-224-2959

申込後に届く「到達通知」メールを開いて「到達番号」と「問合せ番号」を確認し、申込手続が完了したことを確認してください。ウェブ上の**確認ページを印刷**し、手元に保管してください。

○ウェブサイトにある  から申込の状態と内容を確認することができます。

○6月下旬以降に**受験番号が決定するまで、申込の状態は「受付待ち」と表示**されます。

○受験番号決定の際に状態が「受付済み」となり、登録したアドレス宛に受験番号等を記したメールを送信します。**携帯電話及びスマートフォンのアドレスではメール不達の原因となりますので登録しないでください。**

電子申請による申込者で「書類の提出が必要」な場合（加点申請・特別選考）

加点申請
する場合



『加点に係る必要書類』

電子申請時に画像データとして添付する。もしくは郵送する。司書資格取得見込み及びスポーツ加点申請の場合は郵送のみ。 **17頁【11】2参照**

『特別選考に係る必要書類』

郵送のみ。書類に不備がある場合は特別選考での受験ができません。
本要項の各特別選考の頁を参照

特別選考
の場合



提出期間 電子申請の受付期間と同じ 《6月1日（月）当日消印有効》

- ※ 『「司書教諭講習修了証書」取得見込証明書』の提出期限は、6月26日（金）当日消印有効です。
- ※ 教職経験者等を対象とした特別選考〔Ⅱ〕の『人物証明書』は6月11日（木）が提出期限ですが、所属長が作成及び発送していただきます。受験者は、必ず申込手続をとる前に所属長へ依頼し、内諾を得てください。ただし、『教職歴申告書』は6月1日（月）が提出期限です。

必要書類の提出方法（以下の2通り）

Ⅰ 電子申請時に画像のデータを添付する場合	①	<p>免許状、各種資格証明書をスキャンする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファイルサイズは500KBまでにしてください。 ・画像の拡張子は、pdf、jpg、jpeg、gif、bmp、pngです。 ・文字が鮮明に表示されているか、免許状・証明書の一部だけでなく全体が表示されているか等、画像の確認を行ってください。
	②	<p>資料の内容が分かるファイル名を付ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・添付した資料（画像）の内容がわかるように、ファイル名を付けてください。（例：中学校教諭英語二種免許なら「中二英」、司書教諭講習修了証書なら「司書」）
	③	<p>電子申請時に添付する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・添付ファイルは必要最小限にしてください。
Ⅱ 「簡易書留」で郵送する場合	①	<p>加点・特別選考に係る必要書類をコピーする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きさをすべて A4サイズに統一してコピーしてください。
	②	<p>チェックリストを作成する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本要項40頁の チェックリストをコピーして切り取り、必要事項を記入してください。
	③	<p>簡易書留で送る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原則として、チェックリストを封筒裏面に貼付したうえで、次頁の送付先に 「簡易書留」で郵送してください。その際、角形2号封筒（33cm×24cm）を利用してください。 <p>下図のように各種書類を縦置きにした上端には、申請日（○月○日）と、電子申請時に返送された到達番号（13桁）を記入してください。</p> <p>A4縦置きの上端 → ○月○日 ○○○-○○○-○○○-○○○○ (必要書類)</p>
【注意】	<ul style="list-style-type: none"> ・改姓等により提出する書類に記載された 名前が申請時のものと異なる場合は、戸籍抄本等、改姓等の事実が証明ができる書類を添付してください。 ・採用担当窓口への持参による書類の提出は受け付けません。また、郵便料金の不足やいわゆる「普通郵便」で送られてきた場合も、受け付けません。 ・提出された書類は返却しません。 ・必要書類が申込受付期間内に提出されない場合や不備がある場合は、加点申請や特別選考の申込を認めることができませんので、十分に注意してください。 	

2 郵送による申込手続

電子申請による申込を原則としていますが、インターネットに接続できる環境にない等、やむを得ない場合は郵送による申込を受け付けます。

※『電子申請による申込手続』と『郵送による申込手続』で選考における違いはありません。

申込受付期間

令和2年5月13日（水）～同年5月25日（月）当日消印有効

(1) 提出書類

① 申込書（本要項 41 頁をコピーし、本要項 42～44 頁を参考にして必要事項を記入）

② 加点または特別選考に係る必要書類（該当者のみ）

※ 大きさをすべて A4 サイズに統一してコピーしてください。

③ 受験票送付用封筒

糊付き長形 3 号封筒（23.5cm×12.0cm）に 84 円切手を貼り、受験票を受け取ることができる宛先及び郵便番号を明記したもの。ただし、糊付き封筒でない場合は両面テープ貼付可。

(2) 提出方法

上記(1)の提出書類を角形 2 号封筒（33cm×24cm）に入れ、受験する校種等に併せて、表に小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭、特別支援学校教諭、養護教諭または栄養教諭申込書在中と朱書し、下の宛先へ郵送してください。

(3) 提出時の注意事項

書類を郵送する場合は、原則として、本要項 40 頁のチェックリストをコピーして切り取り、必要事項を記入したうえで封筒裏面に貼付し、下の宛先へ「簡易書留」で郵送してください。なお、採用担当窓口への持参による書類の提出は受け付けませんので、ご注意ください。また、郵便料金の不足やいわゆる「普通郵便」で送られてきた場合も、受け付けません。

必要書類が申込受付期間内に提出されない場合や不備がある場合は、申込や加点申請、特別選考の資格を認めることができませんので、十分に注意してください。

3 その他（電子申請、郵送による申請の両方に該当）

(1) 障がいにより、試験会場での配慮が必要な場合は、申込画面（郵送による申込の場合は申込書）の所定の欄にその旨を記入してください。

(2) 申込内容に誤りや変更が生じた場合は、すみやかに以下連絡先まで連絡し、指示を受けてください。

【書類の送付先及び連絡先】

〒514-8570

津市広明町 13 番地

三重県教育委員会事務局教職員課

制度・採用・免許班 採用担当

電話 059-224-2959

※必要書類提出の際は、角形2号（33cm×24cm）の封筒を使用し、原則として、裏面にこのチェックリストを貼付すること

切り取り線

申請日※1	月 日	到達番号※1	—	—	—
校種等※2	教科・科目※2				
氏名					

チェックリスト

		書類等	確認※3
郵送申込	申込書		
	受験票送付用封筒	糊付き長形3号封筒(23.5cm×12.0cm)に84円切手を貼り、受験票を受け取ることができる宛先及び郵便番号を明記したもの	
特別選考 (該当者)	障がい者※4	<input type="checkbox"/> 障がい者を対象とした特別選考申請書 <input type="checkbox"/> 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳いずれかの写し	
	スポーツ	<input type="checkbox"/> スポーツ競技者特別選考実績報告書 <input type="checkbox"/> スポーツの実績を客観的に証明できる書類	
	小学校英語推進	<input type="checkbox"/> 小学校教諭の普通免許状の写し <input type="checkbox"/> 中学校教諭英語の普通免許状の写し	
	社会人	<input type="checkbox"/> 履歴書 <input type="checkbox"/> 在職証明書	
	教職[Ⅰ]	<input type="checkbox"/> 人事記録の写し(所属長等の証明が付されたもの)	
	教職[Ⅱ]	<input type="checkbox"/> 教職歴申告書 <input type="checkbox"/> 在職証明書または人事異動通知書の写し※5	
加点 (該当者で郵送による書類送付)	ア	免許・資格を取得している人については、 加点に係る 取得済のすべての教育職員免許状の写し(加点に係らないものは不要) ◎封筒に入れた教育職員免許状の写しの種別を記入すること	
	ウ	該当する資格について実施団体の発行する資格証明書または資格を証明できる書類の写し	
	エ	臨床心理士・公認心理師登録書(登録番号を含む)の写し	
	オ	該当する資格の証明書の写し	
	カ	<input type="checkbox"/> 「 スポーツ競技者実績加点 」申請書(本要項20頁) <input type="checkbox"/> スポーツの実績を客観的に証明できる書類 (競技団体が発行する証明書<開封無効>、賞状・記録証の写し等)	
	キ	<input type="checkbox"/> 司書教諭講習の修了証書の写し <input type="checkbox"/> 取得見込の場合は「 司書教諭講習修了証書 」取得見込証明書(本要項21頁)	
	ク	看護師免許証の写し(免許交付申請中の場合は、申請中であることがわかる書面の写し)	
	ケ	該当する資格の証明書の写し	
改姓者	戸籍抄本等、改姓等の事実が証明できる書類		

- (注) ※1 電子申請による申込者のみ記入する。 ※2 全員が記入する。 ※3 同封したものすべてに○印を付ける。
 ※4 本要項22頁【12】3(4)により試験項目の変更を希望する場合、該当する他の特別選考の欄にもチェックをする。
 ※5 対象となる者のみ添付・記入する(本要項31頁を参照)。

※は記入しない

※ 999 - - -

※受付 月 日

令和3年度三重県公立学校教員採用選考試験申込書

三重県教育委員会

選考種別	1 一般選考		2 障がい者を対象とした特別選考		3 スポーツ競技者特別選考		コード表1	
	4 小学校英語教育推進者特別選考		5 社会人特別選考					
	6 教職経験者等を対象とした特別選考 [I]		7 教職経験者等を対象とした特別選考 [II]					
申込校種等	小学校・中学校 高等学校・特別支援学校 養護教諭・栄養教諭		教科科目	コード表2		受験番号	※	
小・中への第2希望の有無	1 有 2 無		特別支援学校への希望の有無		1 有 2 無			
フリガナ					性別	1 男 2 女 3 その他		
名前					年齢	満 歳		
生年月日	昭和・平成 年 月 日							
現住所及び電話番号	〒 ↓ 現住所を都道府県名から正確に記入してください							
帰省先等生活の本拠	都道府県名 (県内は市町名) ()		コード表6		電話番号 ()			
出身大学卒業(見込)年月	大学名 (国・公・私) 立 () 大学・短期大学		昭和・平成・令和 年 月		(卒業・卒業見込) 年 月		コード表7 8	
最終学歴	() 課程 (博士・修士) 卒業・卒業見込 / 修了・修了見込		コード表9		出身高校所在地 () 都道府県		コード表10	
取得(見込)免許状	(1) ()		コード表11		(2) ()		コード表11	
	(3) ()		コード表11		(4) ()		コード表11	
	(5) ()		コード表11		(6) ()		コード表11	
	(7) ()		コード表11					
司書教諭講習修了証書の有無	有 見込 無		7 0 0 0		有の場合 取得済「1」、取得見込「0」 ← 無の場合 空欄			
資格・特技に係る加点申請	ア 所定の複数免許状所有 イ ポルトガル語またはスペイン語会話可能 ウ 英語資格所有 (申請する場合は本要項43頁※5の表を参照し、該当する番号(1~3)を記入) エ 臨床心理士、公認心理師資格所有 オ 海技士資格所有 カ スポーツの実績有 キ 司書教諭講習修了証書所有 ク 看護師免許証所有 ケ 言語聴覚士、理学療法士、作業療法士資格所有							
教職経験	年 (月以下の端数は切捨)		企業経験		年 (月以下の端数は切捨)			
現在の職業	勤務先の名称 ()		電話番号 ()				コード表12	
中・高・特別支援保健体育受験者	①球技	1 バasketボール 2 バレーボール		②陸上競技	1 走幅跳 2 砲丸投			
	③武道	1 柔道 2 剣道						
障がいによる配慮希望事項								
講師登録に関する事項								
講師登録希望の有無	1 講師登録を希望し、情報提供に同意する 2 講師登録を希望するが、情報提供には同意しない (※講師登録はされません) 3 講師登録を希望しない							

【宣誓】 申込書の記載項目はすべて真実と相違ありません。私は、学校教育法第9条及び地方公務員法第16条の欠格条項のいずれの号にも該当しないことを宣誓します。

名前

【18】 申込時の確認事項

申込時の状況（年齢を除く）について入力または記入してください

1 電子申請による申込

原則として、電子申請により申し込んでください。電子申請には、エラーチェック機能があるため申請ミスが起こりにくく、また、申請項目の多くに択一式を採用し、入力を簡単にしています。詳しくは、ウェブサイト上の入力方法を参考にしてください。

2 郵送による申込

下の【記入例】を参照しながら申込書の所定の欄に記入してください。

- いずれかを選択する場合は、該当する番号を○で囲むとともに網掛太枠内に該当の番号を記入する。
- 番号がついていない場合は、該当するものを○で囲む。
- コード枠がある場合には、指定されたコード表から選び、青色網掛太枠内にコード番号等を記入する。
- 記入欄が足りない場合は該当の欄をコピーし、欄の上面に貼り付けて記入する。

【記入例】

いずれか一つを○で囲み太枠に該当番号を記入（以下同様）

※1

濁点も同じマスに入れる

姓と名の間は1マスあける

現在下宿している場合の
帰省先など連絡が取れる住所

※2

※3

※4

(1)には必ず、受験する校種教科等に係る免許状を記入
第2希望(※1)がある場合は、
(2)に第2希望の校種教科等に
係る免許状を記入
希望がない場合、他をつめて記入

見込の場合は、「司書教諭講習
修了証書」取得見込証明書の提出
が必要

※5

※6

※7

2次試験の技能・実技試験で
選択する種目を要項で確認
し、領域（器械運動、ダンス
は除く）ごとに記入

車椅子やルーペ使用等、受験
に際して希望する事項があれば
記入

本要項16頁【10】1(5)を確認のう
え、いずれにも該当しなければ、名前
欄に自署すること

※は記入しない ※ 999 - - - ※受付 月 日

令和3年度三重県公立学校教員採用選考試験申込書

三重県教育委員会

1 一般選考	2 障がい者を対象とした特別選考	3 スポーツ競技者特別選考	コード表1
4 小学校英語教育推進者特別選考	5 社会人特別選考		1
6 教職経験者等を対象とした特別選考 [I]	7 教職経験者等を対象とした特別選考 [II]		

申込校種等
小学校・中学校
高等学校 特別支援学校
義務教諭・栄養教諭

科目 保健体育

コード表2 309

受験番号

小・中への第2希望の有無
校種・教科 (なし) コード表2 001

特別支援学校への希望の有無
1 有 2 無 1

フリガナ ミエノ サロウ

名前 三重野 次朗

性別 1 男 2 女 3 その他 1

生年月日 昭和・平成 01年 07月 10日 年齢 満31歳

現住所及び電話番号
三重県津市広町1番地

携帯電話 (090) XXXX-XXXX

電話番号 (059) 224-2959

出身大学
昭和・平成 令和 23年 03月 卒業・卒業見込

コード表7 046 コード表8 011

最終学歴
(◇◇大学院) 課程(博士・修士)

卒業・卒業見込(修)・修了見込

コード表9 11

出身高校所在地 (三重) 都道府県

コード表10 1

取得(見込)免許状
(1) (高一保体) 31121 (2) (小一) 10021
(3) (中一保体) 20721 (4) (中二家) 21030
(5) () (6) ()
(7) ()

司書教諭講習修了証書の有無 有(見込) 無

有の場合取得済「1」、取得見込「0」
無の場合空欄

70000

資格・特技に係る加点申請
ア 所定の複数免許状所有
イ ポルトガル語またはスペイン語会話可能
ウ 英語資格所有 (申請する場合は本要項43頁※5の表を参照し、該当する番号(1~3)を記入)
エ 臨床心理士、公認心理師資格所有
オ 海技士資格所有
カ スポーツの実績有
キ 司書教諭講習修了証書所有
ク 看護師免許証所有
ケ 言語聴覚士、理学療法士、作業療法士資格所有

申請する「ウ」は1~3、それ以外は1、しない「0」→ 102000100

教職経験 03年 (月以下の端数は切捨) 企業経験 02年 (月以下の端数は切捨)

現在の職業
勤務先の名称 △△△スポーツ株式会社
職名 (△△△△) 電話番号 (XXX) XXX-XXXX

コード表12 20

中・高・特別支援保健体育受験者
①球技 1 バスケットボール 2 バレーボール
3 サッカー ②陸上競技 1 走幅跳 2 砲丸投
③武道 1 柔道 2 剣道

障がいによる配慮希望事項

講師登録に関する事項
講師登録希望の有無 1 講師登録を希望し、情報提供に同意する
2 講師登録を希望するが、情報提供には同意しない (※講師登録はされません)
3 講師登録を希望しない

1

【宣誓】 申込書の記載項目はすべて真実と相違ありません。私は、学校教育法第9条及び地方公務員法第16条の欠格条項のいずれの号にも該当しないことを宣誓します。

名前 三重野 次朗

必ず記入 (以下同様)

令和3年
3月31日
現在の年齢

「有」、「見込」
の時は必ず記入

必ず記入

※8

※9

※1 「小・中への第2希望の有無」

小学校教諭受験者が中学校教諭を、中学校教諭受験者が小学校教諭を第2希望とする場合は「1 有」を○で囲み、太枠内に「1」を記入する（第2希望についても該当の校種・教科等の教員免許状を必要とする。）。また、第2希望の校種・教科等を記入し、校種・教科等コードをコード表2から選び、太枠内に記入する。

小・中学校教諭受験者で第2希望がない場合、及びそれ以外の校種等受験者は、「2 無」を○で囲み、太枠内に「2」を記入する。

※2 「出身大学」

学位を取得した大学または短期大学の名称（大学院、専修学校は含めない。）及び、卒業もしくは卒業見込年月を太枠内に記入し、大学コード及び学科等区分コードを太枠内に記入する。

※3 「最終学歴」

最終学歴となる大学等の名称を記入し、最終学歴コードを太枠内に記入する。ただし、免許取得のみを目的とする場合のように、学位の授与を伴わないものは含めない。大学院の修了（見込）場合は、博士課程、修士課程の別が分かるよう「課程（博士・修士）」のいずれかを○で囲むこと。

※4 「取得（見込）免許状」

（1）には必ず受験を申し込む校種教科等に係る免許状を記入する。免許状の種類については、例えば、中学校教諭（国語）一種免許状の場合は「中一国」と略記する。取得（見込）教育職員免許状は7つまで記入し、同一校種教科で複数の免許状を所有している場合は、専修・一種・二種のうち、上位の免許状（例えば専修と一種を所有している場合は専修）のみ記入する。なお、変更が生じた場合は、すみやかに連絡すること。太枠内には、該当免許コードをコード表11から選び末尾に見込の場合は0、取得済の場合は1をつけて5桁で記入する。加点に係るものは必ず記入すること。

※5 「資格・特技に係る加点申請」

ア～ケの太枠内に、申請する場合は1を、申請しない場合は0を記入する（複数申請可）。ただし、ウ（英語資格所有の加点）を申請する場合には、下表*により1～3を記入する。

認められる要件を本要項19頁の「加点一覧表」で確認する。ここに記入がない場合は、加点しない。複数免許を取得見込で加点申請する人は、取得年月日などを関係機関（大学等）に確認のうえ申し込む。また、司書教諭講習修了証書を取得見込で加点申請する人は、本要項21頁の「司書教諭講習修了証書」取得見込証明書の提出が必要となる。取得見込で加点申請し合格となっても、取得できない場合は内定を取り消す場合がある。

*…英語資格所有の加点を申請する場合の、ウの太枠内へ記入すべき数字

所有英語資格			受験校種・教科別の記入数字		
実用英語技能検定	TOEFL iBT	TOEIC Listening & Reading Test	小学校	中学校英語・高等学校英語	その他
1級	100以上	860以上	1	1	1
準1級	80～99	730～855	2	2	2
2級	54～79	550～725	3		

※6 「企業経験」

民間企業での勤務経験（アルバイト、公務員は除く）を通算した年数を2桁で記入する。（月以下の端数は切捨）

※7 「教職経験」

正規の教員、常勤講師、非常勤講師すべてを含む教職経験の通算年数を2桁で記入する。（月以下の端数は切捨）

※8 「現在の職業」

現在、官公庁、会社等に勤務している人は、勤務先名を記入し、該当する現職コードをコード表 12 から選び、太枠内に記入する。「現在の職業」欄の記入にあたって、現職の教職員（常勤講師、非常勤講師等を含む）は学校名、職名、電話番号を記入する。なお、学生は勤務先について記入しなくてよい。

※9 「講師登録の希望の有無」

本選考試験で不合格となっても、本県での講師を希望し、申込書に記入した情報のうち講師登録に必要なもの（名前、生年月日、性別、現住所、電話番号、取得〈見込〉免許状）を県及び市町等教育委員会へ提供することに同意する場合、「1」を○で囲み、太枠内に「1」を記入することで、自動的に講師登録される。学生の場合は令和3年4月以降の任用に向け登録される。

また、本県での講師を希望するものの、先の情報提供に同意しない場合、「2」を○で囲み、太枠内に「2」を記入すると、講師登録されない。本県での講師を希望しない場合は「3」を○で囲み、太枠内に「3」を記入する。

なお、ここでの情報提供は簡易的な講師登録であるため、実際に公立学校講師登録を希望する場合は、教員採用のウェブサイトにある「講師等の募集」より、最新の情報を記入のうえ、再度、登録する必要がある。

申し込み記入のためのコード表

1 選考種別コード

一般選考	1	障がい者を対象とした特別選考	2	スポーツ競技者特別選考	3
小学校英語教育推進者特別選考	4	社会人特別選考	5		
教職経験者等を対象とした特別選考 [I]	6	教職経験者等を対象とした特別選考 [II]	7		

2 申込校種・教科等コード

小学校	100	国語	301	特別支援	700
中学校	200	地理歴史	302	小学部	700
	201	公民	303	中学部	705
	202	数学	304	高等部	707
	203	理科	305	養護教諭	400
	204	保健体育	309	栄養教諭	500
	205	家庭	311		
	206	工業(機械系)	313		
	207	工業(電気・電子系)	314		
	208	工業(工業化学系)	316		
	209	英語	322		
	210	水産(海洋)	325		
第2希望なし	001	水産(機関)	326		

3 小・中への第2希望コード

有	1
無	2

4 特別支援学校希望コード

有	1
無	2

5 性別コード

男	1
女	2
その他	3

6 生活の本拠地コード

三重県		三重県外	
桑名市	001	多気町	013
木曽岬町	002	大台町	014
いなべ市	003	明和町	015
東員町	004	伊勢市	016
四日市市	005	玉城町	017
朝日町	006	大紀町	018
川越町	007	度会町	019
菰野町	008	南伊勢町	020
鈴鹿市	009	鳥羽市	021
亀山市	010	志摩市	022
津市	011	伊賀市	023
松阪市	012	名張市	024
紀北町	025	尾鷲市	026
尾鷲市	026	熊野市	027
熊野市	027	紀宝町	028
紀宝町	028	御浜町	029
御浜町	029	北海道	101
北海道	101	千葉県	113
千葉県	113	京都府	125
京都府	125	高知県	137
高知県	137	愛媛県	138
愛媛県	138	福岡県	139
福岡県	139	佐賀県	140
佐賀県	140	長崎県	141
長崎県	141	熊本県	142
熊本県	142	大分県	143
大分県	143	宮崎県	144
宮崎県	144	鹿児島	145
鹿児島	145	沖縄県	146
沖縄県	146	その他	999
その他	999	徳島県	136
徳島県	136	徳島県	136

7 大学コード

国立大学				公立大学									
北海道	001	宇都宮	016	新潟	031	滋賀	047	山口	063	鹿屋体育	078	滋賀県立	112
北海道教育	002	群馬	017	長岡技術科学	032	京都	048	徳島	064	琉球	079	京都府立	113
室蘭工業	003	埼玉	018	上越教育	033	京都教育	049	鳴門教育	065	その他国立大学	099	大阪市立	115
小樽商科	004	千葉	019	富山	034	京都工芸繊維	050	香川	066	公立大学		大阪府立	116
帯広畜産	005	東京	020	金沢	036	大阪	051	愛媛	067	高崎経済	101	神戸市外国語	117
北見工業	006	東京外国語	021	福井	037	大阪教育	053	高知	068	東京都立	102	兵庫県立	118
弘前	007	東京学芸	022	山梨	038	神戸	054	福岡教育	069	横浜市立	103	下関市立	119
岩手	008	東京農工	023	信州	039	兵庫教育	055	九州	070	都留文科	104	高知県立	120
東北	009	東京芸術	024	岐阜	040	奈良教育	056	九州工業	071	岐阜薬科	105	その他の公立大学	199
宮城教育	010	東京工業	025	静岡	041	奈良女子	057	佐賀	072	静岡県立	106		
秋田	011	東京海洋	026	名古屋	042	和歌山	058	長崎	073	金沢美術工芸	107		
山形	012	お茶の水女子	027	愛知教育	043	鳥取	059	熊本	074	愛知県立	108		
福島	013	電気通信	028	名古屋工業	044	島根	060	大分	075	愛知県立芸術	109		
茨城	014	一橋	029	豊橋技術科学	045	岡山	061	宮崎	076	名古屋市立	110		
筑波	015	横浜国立	030	三重	046	広島	062	鹿児島	077	三重県立看護	111		

私立大学													
国際武道	202	中央	225	明治学院	249	名古屋学芸	274	京都華光女子	295	関西	316	奈良	337
文教	203	津田塾	226	立正	252	名古屋音楽	275	京都橘	296	関西外国語	317	畿央	338
淑徳	204	帝京	227	和光	253	名古屋学院	276	同志社	297	近畿	318	びわこ成蹊スポーツ	339
青山学院	205	東海	228	早稲田	254	名古屋芸術	277	同志社女子	298	四天王寺	319	岡山理科	340
大妻女子	206	東京音楽	229	神奈川	255	名古屋商科	278	京都ノートルダム女子	299	摂南	320	京都造形芸術	341
学習院	207	東京家政	230	金沢工業	257	名古屋女子	279	花園	300	相愛	321	その他の私立大学	399
共立女子	208	東京女子体育	233	岐阜協立	259	南山	280	佛教	301	大阪国際	322	短期大学	
国立音楽	209	東京電機	235	岐阜女子	260	日本福祉	281	立命館	302	帝塚山学院	323	名古屋芸術大短大	402
慶應義塾	210	東京農業	236	岐阜聖徳学園	261	愛知みずほ	282	龍谷	303	梅花女子	324	名古屋女子大短大	403
国際学院	211	東京薬科	237	東海学園	262	名城	283	大阪音楽	304	阪南	325	名古屋商大短大	404
国際基督教	212	東京理科	238	愛知東邦	263	名古屋外国語	284	大阪学院	305	桃山学院	326	名古屋学芸大短大	405
国士舘	213	東洋	239	愛知	264	四日市	285	大阪経済	306	芦屋	327	愛知みずほ大短大	406
駒澤	214	二松學舎	240	愛知学院	265	鈴鹿医療科学	286	大阪芸術	307	関西福祉科学	328	三重短期	407
順天堂	215	日本	241	愛知工業	266	鈴鹿	287	大阪工業	308	大手前	329	鈴鹿大学短期大学	409
芝浦工業	216	日本女子	242	愛知淑徳	267	皇學館	288	大阪産業	309	関西学院	330	高田短期	410
上智	217	日本女子体育	243	金城学院	268	三重中京	289	大阪樟蔭女子	310	甲南	331	三重中京大短大	411
昭和女子	218	日本体育	244	椋山女学園	269	大谷	290	大阪商業	311	神戸女子	332	大阪成蹊短期	412
専修	220	法政	245	大同	270	京都外国語	291	大阪体育	312	神戸親和女子	333	奈良文化女子短期	414
創価	221	武蔵野美術	246	中京	271	京都学園	292	大阪電気通信	313	武庫川女子	334	その他の短期大学	499
大東文化	222	武蔵野音楽	247	至学館	272	京都産業	293	大阪大谷	314	帝塚山	335		
玉川	223	明治	248	中部	273	京都女子	294	追手門学院	315	天理	336		

(注) ・ 教員資格認定試験合格者等で、上記に該当しない場合は、大学コードを999、学科等区分コードを99とし、卒業年月日は免許取得年月を記入のこと。

・ 大学・短大の名称変更があった場合、旧名称卒業者は新名称の大学コードを選択すること。

8 学科等区分コード

(1) 国立大学の 教員養成課程 01	(2) (1)以外の国公立の大学・短大等									
	国語・国文学系	11	体育学系	21	生物学系	31	農学系	41		
	外国語・外国文学系	12	美術系	22	地学系	32	農芸化学系	42		
	哲学・宗教学系	13	音楽系	23	機械工学系	33	農業工学系	43		
	考古学系	14	家政学系(食物・被服を除く)	24	電気・電子工学系	34	林学系	44		
	国史学系	15	食物・栄養学系	25	応用化学系	35	畜産学系	45		
	東洋史・西洋史学系	16	被服学系	26	土木工学系	36	水産学系	46		
	地理学系	17	教育学、児童・初等教育系	27	建築工学系	37	機関学系	47		
	政治・法学系	18	数学系	28	金属工学系	38	薬学系	48		
指定教員養成機関*	社会福祉・社会学系	19	物理学系	29	繊維工学系	39	看護・保健学系	49		
50	経済・商学系	20	化学系	30	情報工学系	40	その他	99		

(注) 「指定教員養成機関」とは、教員養成大学・学科に附置されている養護教諭特別別科などを指す。

(例) 岡山大学養護教諭特別別科 →コード50を選択

9 最終学歴コード

大学院修了(博士課程)	11	専攻科修了	3	大学卒業	5	短期大学卒業	7	その他	9
大学院修了(修士課程)	12	専攻科修了見込	4	大学卒業見込	6	短期大学卒業見込	8		
大学院修了(博士課程)見込	21								
大学院修了(修士課程)見込	22								

10 出身高校所在地コード

三重県	1	その他	2
-----	---	-----	---

11 免許コード

校種教科等	専修免許状	一種免許状	二種免許状	校種教科等	専修免許状	一種免許状	校種教科等	専修免許状	一種免許状	二種免許状	
小学校教諭	1001	1002	1003	国語	3011	3012	養護教諭	4011	4012	4013	
中学校教諭	国語	2011	2012	2013	社会	3021	3022	盲学校教諭	4021	4022	4023
	社会	2021	2022	2023	地理歴史	3031	3032	聾学校教諭	4031	4032	4033
	数学	2031	2032	2033	公民	3041	3042	養護学校教諭	4041	4042	4043
	理科	2041	2042	2043	数学	3051	3052	特別支援学校教諭	4111	4112	4113
	音楽	2051	2052	2053	理科	3061	3062	自立活動教諭		4052	
	美術	2061	2062	2063	音楽	3071	3072	幼稚園教諭	5011	5012	5013
	保健体育	2071	2072	2073	美術	3081	3082	栄養教諭	6011	6012	6013
	保健	2081	2082	2083	工芸	3091	3092	その他	9991	9992	9993
	技術	2091	2092	2093	書道	3101	3102				
	家庭	2101	2102	2103	保健体育	3111	3112				
外国語(英語)	2111	2112	2113	保健	3121	3122					
その他	2991	2992	2993	看護	3131	3132					
				家庭	3141	3142					
				農業	3151	3152					
				工業	3161	3162					
				商業	3171	3172					
				水産	3181	3182					
				商船	3191	3192					
				外国語(英語)	3201	3202					
				情報	3211	3212					
				福祉	3221	3222					
				その他	3991	3992					

(注) 4桁の数字の後に「取得済」のものには「1」、「見込」のものには「0」を付けて5桁で記入すること

12 現職コード

県内公立小中学校教諭	01	三重県立学校実習助手(正規)	06	県外公立学校教諭	12	公務員	19
県内公立小中学校講師	02	三重県立学校実習助手(正規以外)	07	県外公立学校講師	13	会社員	20
県内公立小中学校職員	03	上記以外の三重県立学校職員(正規)	08	県外公立学校職員	14	学生	21
三重県立学校教諭	04	私立学校教諭	09	県外公立学校実習助手(正規)	15	その他の職業	22
三重県立学校講師	05	私立学校講師	10	県内公立幼稚園教諭	16		
		私立学校職員	11	私立幼稚園教諭	17	無職	99
				県外公立幼稚園教諭	18		

(注) 国立の学校については、「公立」に含めます。

【19】 情報公開、問い合わせ先等

★ 三重県公立学校教員採用選考試験にかかる情報公開について

令和3年度三重県公立学校教員採用選考試験の問題等について、次の要領により開示します。

1 開示する問題等

- 第1次選考試験・・・筆答試験（問題と正解）
小論文（問題、解答用紙）
- 第2次選考試験・・・論述試験（問題、解答用紙、解答例）
技能・実技試験（問題または課題内容）
模擬授業課題

2 開示月日及び開示場所

- 【月 日】第1次選考試験・・・令和2年8月4日（火）以降
第2次選考試験・・・令和2年9月10日（木）以降

【場 所】三重県情報公開・個人情報総合窓口で閲覧できます。

（津市栄町1丁目954 三重県栄町庁舎1階/TEL 059-224-2073）

（土曜日、日曜日、祝日及び年末年始を除く）

写しを希望する場合は、コピー代金（1枚10円）が必要です。

なお、過去に実施した試験問題についても、実施後5年間、同様に開示します。

★ 受験に関する問い合わせ先等

問い合わせ先：三重県教育委員会事務局 教職員課

制度・採用・免許班 採用担当

電話：059-224-2959 FAX：059-224-3040

E-mail: kyosyok@pref.mie.lg.jp

（8:30～17:15 土曜日、日曜日、祝日及び年末年始を除く）

要項記載事項を確認の上、お問い合わせください。

教員採用選考試験に関するご案内は、三重県教員採用のウェブサイト及び三重県教員採用のTwitterで紹介しています。実施内容に変更がある場合も随時掲載しますので、こまめに確認してください。

また、7月17日（金）午前9時以降、非常災害時等における試験実施に関する情報を随時掲載しますので、ご確認ください。

右の二次元コードを用いてアクセスすることができます。



ウェブサイト



Twitter

★ 受験に関する書類の送付先

〒514-8570 三重県津市広明町13番地

三重県教育委員会事務局 教職員課

制度・採用・免許班 採用担当

- 1 書類提出の際は角形2号（33cm×24cm）の封筒を使用し、簡易書留で送付してください。
- 2 送付の際は、原則として、本要項40頁のチェックリストをコピーして外枠で切り取り、必要事項を記入したものを封筒裏面に貼り付けてください。
- 3 受験に際して提出された書類は返却しません。

【20】 参考資料

校長及び教員としての資質の向上に関する指標

○ 教員としての資質の向上に関する指標

ライフステージ		教職着任時		
		教職に就く者として求められる基礎的な知識や技能を身につけている。		
必要とされる素養	教育的愛情 使命感 責任感	○児童生徒への深い愛情と教員としての使命感や責任感を身につけている。		
	倫理観 コンプライアンス	○法令遵守や服務規律確保の重要性を理解している。		
	社会性 コミュニケーション力	○社会人としての常識と教養を身につけ、立場に応じた発言や行動ができる。		
	学び続ける意欲 探究心	○自己研鑽の必要性について理解し、自ら学び続ける意欲を持っている。		
教職を担うにあたり必要とされる専門性	児童生徒理解	○児童生徒一人ひとりの実態や生活背景をふまえ、細やかな配慮の必要性を理解し、カウンセリングマインドを身につけている。		
	授業力	授業計画	○学習指導要領の内容を理解し、授業づくりに向けて、教科等に関する専門的知識・技能を身につけている。	
		授業実践	○基礎的な指導方法や指導技術を身につけ、授業を実践することができるとともに、学習評価を適切に行うことの大切さを理解している。	
		授業改善	○授業研究の必要性を理解し、授業改善に向け、継続して努力することができる。	
生徒指導	○児童生徒の普段の様子から児童生徒の発するサインに気づくことができる。 ○実態に即して個に応じた指導や集団への指導の必要性を理解している。			
教職を担うにあたり必要とされる専門性	学校組織運営力	学級経営 学校運営への参画	○学級担任としての役割や校務分掌の内容を理解している。	
		危機管理	○学校における安全配慮義務や危機管理の重要性を理解するとともに、有事の際に基本的な危機回避行動ができる。	
		チームワーク 人材育成	○組織の一員としての自覚を持ち、周囲からの指導・助言を受け止め、周囲と連携・協力して行動することができる。	
		家庭・地域社会・関係機関との連携と協働	○学校が家庭や地域、関係機関と連携して教育活動を行うことの効果や重要性を理解している。	
		ワーク・ライフ・バランス	○ワーク・ライフ・バランスの重要性を理解している。	
	教育課題への対応力	グローバル教育・郷土教育	○豊かな国際感覚を持つことや、郷土を愛することの大切さを理解している。	
		キャリア教育	○社会の動向やニーズに関心を持ち、キャリア教育の重要性を理解している。	
		情報教育	○ICTの効果や情報教育の必要性を理解している。	
		人権教育	○人権教育の意義とその重要性を理解し、差別や偏見をなくすための自らの責務を自覚している。	
		特別支援教育	○特別な支援を必要とする児童生徒への指導・支援の必要性と、児童生徒が互いを尊重し、共に学ぶことの大切さを理解している。	
		外国人児童生徒教育	○日本語指導が必要な児童生徒に対する指導や保護者への支援の必要性、多文化共生に係る学習の大切さを理解している。	
		いじめに関する事項	○いじめの防止、早期把握の必要性を理解している。	
		不登校に関する事項	○児童生徒が安心して意欲的に学ぶことができる学校・学級づくりや不登校の初期対応の必要性を理解している。	
防災に関する事項	○三重県の地理的特性をふまえた防災教育の重要性を理解している。			

校長及び教員としての資質の向上に関する指標

○ 養護教諭に必要な事項（専門領域）

ライフステージ 資質能力 にかか る 項目		教職着任時
		養護教諭として求められる基礎的な知識や技能を身につけている。
養護教諭に必要な事項（専門領域）	保健管理	○学校保健安全法を理解し、保健管理に関する基礎的な知識・技術を身につけている。
	保健教育	○保健教育にかかる専門性や学習指導要領に関する基礎的な知識を有している。
	保健室経営	○保健室経営における養護教諭の役割を理解するとともに、保健室経営計画を立案する知識を有している。
	健康相談	○学校保健安全法における健康相談の位置づけや、健康相談の基本的プロセス（課題の背景把握、支援方針・支援方法の検討、校内外の連携など）を理解している。
		○カウンセリングマインドを持って、児童生徒の相談を受けることができる。
保健組織活動	○保健組織活動の意義と学校保健に関する校内外の協力体制の重要性を理解している。	

注) 保健管理（保健情報の把握、健康診断、感染症の予防、救急体制と救急処置、学校環境衛生）
 保健情報（健康観察、保健調査、健康診断、保健室の利用状況等から得られる情報）
 保健教育（保健学習、保健指導（集団・個別指導）、啓発活動（保健だより、掲示等））
 保健組織（児童保健委員会、学校保健委員会、PTA保健委員会等）

○ 栄養教諭に必要な事項（専門領域）

ライフステージ 資質能力 にかか る 項目		教職着任時	
		栄養教諭として求められる基礎的な知識や技能を身につけている。	
栄養教諭に必要な事項（専門領域）	給食管理	栄養管理（献立作成）	○学校給食摂取基準を理解し、栄養管理、献立作成に関する基礎的な知識・技能を有している。
		衛生管理	○学校給食衛生管理基準を理解し、衛生管理に関する基礎的な知識・技能を有している。
	食に関する指導	給食の時間の指導	○給食の時間における食に関する指導について、基礎的な知識・技能を有している。
		教科等における指導	○教科等における食に関する指導について、基礎的な知識・技能を有している。
		個別的な相談指導	○カウンセリングマインドを持って、児童生徒の食に関して個別的な相談を行うことの重要性を理解している。

[参考資料] 過去3年間の三重県公立学校教員採用選考試験の受験者数及び合格者数

採用年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度		
校種等・教科・科目		受験者数	合格者数	受験者数	合格者数	受験者数	合格者数	
小学校教諭		920	240	919	192	965	252	
中学校教諭	国語	117	15	127	11	124	16	
	社会	145	17	163	8	165	23	
	数学	108	18	108	11	106	15	
	理科	68	17	70	15	70	21	
	音楽	43	4	49	3	44	4	
	美術	27	5	26	4	39	5	
	保健体育	186	15	181	13	178	15	
	技術	10	3	10	2	9	3	
	家庭	11	4	12	2	15	2	
	英語	95	17	111	15	118	22	
	小計	810	115	857	84	868	126	
高等学校教諭	国語	61	6	66	7	72	9	
	地理歴史	64	5	61	3	73	3	
	公民	17	2	—	—	26	2	
	数学	87	8	86	11	97	11	
	理科	63	5	67	5	82	4	
	音楽	—	—	—	—	—	—	
	美術	—	—	—	—	—	—	
	書道	—	—	—	—	—	—	
	保健体育	134	6	146	7	166	8	
	看護	2	2	—	—	—	—	
	家庭	16	4	14	3	11	3	
	農業	11	2	—	—	—	—	
	工業	機械系	20	4	17	2	20	3
		電気・電子系	—	—	7	2	—	—
		建築系	—	—	4	2	—	—
		工業化学系	—	—	—	—	—	—
		土木系	2	1	—	—	—	—
	商業	32	3	—	—	40	2	
	英語	61	11	56	7	66	9	
	情報	—	—	26	3	—	—	
福祉	14	3	—	—	13	3		
水産	海洋	—	—	—	—	—	—	
	機関	—	—	—	—	—	—	
小計	584	62	550	52	666	57		
特別支援学校教諭	小学部	63	16	61	12	58	13	
	中学部・高等部	音楽	9	2	10	2	10	2
		保健体育	26	2	20	2	23	2
	自立活動	—	—	—	—	—	—	
	小計	98	20	91	16	91	17	
養護教諭	167	22	194	20	209	28		
栄養教諭	43	6	45	3	52	5		
合計	2,622	465	2,656	367	2,851	485		

(注) ・令和2年度とは、令和元年に実施した選考試験です。
 ・受験者数は第1次選考試験の受験者数、合格者数は第2次選考試験の合格者数です。
 ・各年度の受験者数及び合格者数には、特別選考による受験者及び合格者を含みます。